

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **21**

目次

	常設展		作品管理
004	第1期常設展示	047	収集作品一覧
006	第2期常設展示	053	作品貸出実績
007	第3期常設展示		
009	第4期常設展示		教育・普及
011	高橋節郎館 第1期常設展示	055	講演会、シンポジウム
013	高橋節郎館 第2期常設展示		講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ
015	高橋節郎館 第3期常設展示	056	コンサート、映画上映会、パフォーマンス等 アウトリーチ活動
			ミュージアムフェスタ
	特別展・常設特別展	057	庭園活用事業
017	山本富章 斑粒・ドット・拍動		作品ガイドボランティア
019	絵画凸凹		出版、ビデオ制作
021	琴線		小・中学校美術館学習
024	切断してみる—二人の耕平	058	研修会
026	浅野弥衛—コレクションを中心に		博物館実習
029	間を考える		
			利用実績
	企画展	059	観覧者数
032	デトロイト美術館展		ギャラリー利用状況
	大西洋を渡ったヨーロッパの名画たち	060	ライブラリー利用状況
035	ジブリの立体建造物展		レストラン等付属施設利用状況
037	杉戸洋—こっばとあまつぶ		
041	蜘蛛の糸：クモがつむぐ美の系譜—江戸から現代へ		組織
		061	組織図
		062	美術館運営協議会
			美術品収集委員会
			美術館ボランティア
			作品ガイドボランティア
			関係法規
		063	豊田市美術館条例
		064	豊田市美術館管理規則
		068	沿革

凡例

◎常設展示、企画展示の出品作品および購入作品、寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法、素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示と購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

第1期常設展示

2016年4月16日[土] - 6月26日[日]

54日間

展示室 5-7

展示室 5

01

梅原 龍三郎
少女アニー
1908年
油彩、カンヴァス
41.0×32.8cm

02

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

03

岸田 劉生
代々木附近
1915年
油彩、カンヴァス
37.7×45.4cm

04

宮脇 晴
仲田風景
1922年頃
油彩、カンヴァス
60.7×68.3cm

05

小堀 四郎
ドーミエ作《洗濯女》の模写
1929年
油彩、板
51.3×35.2cm

06

前田 寛治
I子像
1928年
油彩、カンヴァス
90.6×72.8cm

07

森村 泰昌
肖像(ゴッホ)
1985年
写真
120.0×100.0cm

08

斎藤 義重
トロウッド
1938年(1973年再制作)
アクリル、合板
120.0×100.0cm

09

斎藤 義重
作品 10

1961年
油彩、合板
181.4×121.2cm

10

法真 信也
無題
2008年
油彩、アルミ積層複合材
111.7×161.5cm

11

横内 賢太郎
Book-CHRI 6750
2005年
染料、メディアム、サテン
97.0×130.0cm

12

菱田 春草
春色
1905年
膠彩、絹布
70.9×49.4cm

13

横山 大観
綿牧
1905年
膠彩、絹布
115.0×50.5cm

14

速水 御舟
果物
1920年
膠彩、絹布
26.4×23.9cm

15

速水 御舟
鯉
1922年
鉛筆、紙
54.5×69.5cm

16

村上 草岳
山淵含春図
1936年
墨、膠彩、紙
74.4×30.8cm

17

川合 玉堂
桃咲く山里
1949年頃
膠彩、絹布
72.5×54.4cm

18

棟方 志功
花深処菩薩図
1970年頃
墨、彩色、紙
69.0×35.4cm

19

会田 誠
あぜ道
1991年
岩絵具、アクリル、和紙
73.0×52.0cm

20

草間 彌生
チェア
1965年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
90.0×80.0×87.0cm

21

草間 彌生
無題(イス)
1963年
詰めもの入り縫製布、木製椅子
87.5×45.0×57.0cm

22

宮脇 綾子
はりえ日記
1972-90年
水彩、アブリケ
30.2×21.0cm

展示室 6

23

マックス・クリンガー
ミュージズの頭部
1890年以前
大理石に着色
17.5×34.5×23.2cm

24

ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

25

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

26

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像

1914年

油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

27

エゴン・シーレ
レオポルト・ツイハチェックの肖像
1907年
油彩、カンヴァス
149.8×49.7cm

28

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

展示室 7

29

コンスタンティン・ブランクーシ
若い男のトルソ II
1924年(1973年鑄造)
ブロンズ
41.7×27.6×13.9cm

30

マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm

31

ルネ・マグリット
無謀な企て
1928年
油彩、カンヴァス
116.0×81.1cm

32

イヴ・タンギー
失われた鐘
1929年
油彩、カンヴァス
64.2×53.2cm

33

ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm

34

フランシス・ベーコン
スフィンクス
1953年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

35

サルバドール・ダリ
皿のない二つの目玉焼きを背に乗せ、ポルト
ガルパンのかけらを犯そうとしている平凡な
フランスパン
1932年
油彩、板
16.0×22.0cm

第2期常設展示

2016年7月15日[金]ー9月25日[日]

66日間

展示室 5-6

展示室 5

01

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

02

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

03

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

04

マックス・クリンガー
裸婦
1914年
コンテ、チョーク、紙
71.0×32.0cm

05

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

06

入江 波光
草園
1925-26年頃
膠彩、絹布
136.5×42.2cm

07

徳岡 神泉
柳
1953年
膠彩、紙
57.2×85.3cm

08

横山 葩生
夏の山
1931年
膠彩、絹布
243.0×187.0cm

09

モーリツ・コルネリス・エッシャー
上昇と下降

1960年
リトグラフ、紙
35.5×28.5cm

10

モーリツ・コルネリス・エッシャー
物見の塔
1958年
リトグラフ、紙
46.2×29.5cm

11

モーリツ・コルネリス・エッシャー
反射球体と手
1935年
リトグラフ、紙
31.8×21.3cm

12

モーリツ・コルネリス・エッシャー
爬虫類
1943年
リトグラフ、紙
33.4×38.5cm

13

小川 信治
ブラハ
1998年
鉛筆、油、紙
46.0×61.0cm

14

小川 信治
ピサー3
2002年
鉛筆、紙
76.0×56.0cm

15

村瀬 恭子
Milky Cave
2009年
油彩、色鉛筆、綿布
190.0×320.0cm

16

奈良 美智
Dream Time
1988年
アクリル、カンヴァス
116.7×90.9cm

17

丸山 直文
breeze 2
2004年
アクリル、綿布
227.0×145.5cm

18

村上 隆
R. P. (ランドセル・プロジェクト)
1991年
コブラの皮革、タテゴトアザラシ(毛付)の皮革、タテゴトアザラシの皮革、イワシクジラの皮革、ダチョウの皮革、カイマンワニの皮革、カバの皮革、ヨシキリザメの皮革
各30.0×23.0×20.0cm(8点)

展示室 6

19

小堀 四郎
生命の神秘(伊東の大楠)
1983年
油彩、カンヴァス
130.0×162.0cm

20

小堀 四郎
生命の神秘(千年の藤)
1986年
油彩、カンヴァス
164.8×130.5cm

21

小堀 四郎
二人で歩いた厳しい道
1987年
油彩、カンヴァス
161.8×149.0cm

22

宮脇 晴
人形を持って立つ少女
1921年
油彩、カンヴァス
116.5×72.5cm

23

宮脇 綾子
洋酒瓶
1970年
アブリケ
65.5×53.3cm

24

宮脇 綾子
ぼうぶらのいる瓶
1981年
アブリケ
106.5×112.5cm

25

宮脇 綾子
一卵性玉ねぎ
1985年
アブリケ
84.0×33.0cm

26

宮脇 綾子
芽の伸びたこんにやく芋
1985年
アブリケ
94.0×34.0cm

第3期常設展示

2016年10月15日[土]ー12月25日[日]

62日間

展示室 5-7

展示室 5

01

今村 紫紅
秋風五丈原
1907年
膠彩、絹布
165.0×112.4cm

02

岸田 劉生
自画像
1913年
油彩、カンヴァス
45.6×38.0cm

03

岸田 劉生
横臥裸婦
1913年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm

04

佐分 眞
アリス
1927年
油彩、カンヴァス
60.5×50.0cm

05

中村 彝
圓體のある静物
1923年
油彩、カンヴァスボード
32.5×23.7cm

06

速水 御舟
菊に猫
1922年
膠彩、絹布
130.6×50.1cm

07

速水 御舟
鶏
1925年
膠彩、絹布
126.0×43.2cm

08

菱田 春草
鹿
1909年
膠彩、絹布
128.0×51.0cm

09

横山 大観
帰牧

1905年
膠彩、絹布
115.0×50.5cm

10

横山 大観
月明
1909年頃
膠彩、墨、絹布
119.2×41.2cm

11

ジャン(ハンス)・アルプ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0cm

12

コンスタンティン・ブランクーシ
雄鶏
1924年(1972年铸造)
ブロンズ
92.4×10.5×45.0cm

13

マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm

14

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

15

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

16

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

展示室 6

17

小堀 四郎
谷中風景
1922年
油彩、カンヴァス
60.8×60.8cm

18

小堀 四郎
影
1927年
油彩、カンヴァス
130.5×89.8cm

19

小堀 四郎
ツールの朝
1928年
油彩、カンヴァス
50.0×60.8cm

20

小堀 四郎
イタリアの少年
1929年
油彩、カンヴァス
117.0×64.5cm

21

小堀 四郎
バリ郊外
1929年
油彩、カンヴァス
46.2×53.7cm

22

小堀 四郎
修道士の顔
1930年
油彩、カンヴァスボード
40.8×33.0cm

23

小堀 四郎
アトリエにて
1931年
油彩、カンヴァス
73.5×54.2cm

24

小堀 四郎
厨房(アトリエの一隅)
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

25

小堀 四郎
想ひ
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

26

小堀 四郎
赤衣の女
1932年
油彩、カンヴァスボード

45.5×38.0cm

27

小堀 四郎
バルコン
1932年頃
油彩、カンヴァス
46.0×37.6cm

28

小堀 四郎
イタリア フィレンツェにて
1933年
油彩、カンヴァスボード
18.5×23.8cm

29

小堀 四郎
ボジリボの丘より
1933年
油彩、カンヴァス
38.3×55.3cm

展示室 7

30

宮脇 晴
自画像(17才)
1919年
油彩、カンヴァス
45.5×33.3cm

31

宮脇 晴
やぶの路
1921年
油彩、カンヴァス
33.3×45.5cm

32

宮脇 晴
藪の道
1921年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm

33

宮脇 晴
風景 大野川
1922年
油彩、カンヴァス
38.3×45.5cm

34

宮脇 晴
仲田風景
1922年頃
油彩、カンヴァス
60.7×68.3cm

- 35**
宮脇 晴
自画像
1925年
油彩、カンヴァス
45.5×37.9cm
- 36**
宮脇 綾子
蕪
1954年
アブリケ
16.8×22.0cm
- 37**
宮脇 綾子
するめ
1958年
アブリケ
32.5×37.5cm
- 38**
宮脇 綾子
れんこん
1968年
アブリケ
30.2×38.1cm
- 39**
宮脇 綾子
木曾路の月
1971年
アブリケ
25.5×22.7cm
- 40**
宮脇 綾子
もようはた
1974年
アブリケ
33.6×31.5cm
- 41**
宮脇 綾子
ざくろの実と花
1978年
アブリケ
25.5×38.0cm
- 42**
宮脇 綾子
掘りたての馬鈴薯
1980年
アブリケ
36.5×30.5cm

第4期常設展示

2017年1月14日[土]ー4月2日[日]

69日間

展示室 5-7

展示室 5

- 01**
グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm
- 02**
マックス・エルンスト
子供、馬そして蛇
1927年
油彩、カンヴァス
71.5×82.0cm
- 03**
ジャン(ハンス)・アルプ
ひと、ひげ、へそ
1928-29年
木に着色
79.9×79.3×9.0cm
- 04**
ジャン(ハンス)・アルプ
灰色の上の黒い形態の星座
1937年
木に着色
80.1×61.1×3.7cm
- 05**
ジョアン・ミロ
絵画
1933年
油彩、カンヴァス
128.0×162.0cm
- 06**
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm
- 07**
ルーチョ・フォンターナ
空間概念
1962年
油彩、カンヴァス
129.0×97.0cm
- 08**
ウィレム・デ・クーニング
二人の人物
1967年
油彩、カンヴァスに貼った紙
90.8×60.3cm
- 09**
イミ・クネーベル
規格 I B1-B4

- 1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm(4点組)
- 10**
熊谷 守一
裸婦
1961年
油彩、カンヴァス
40.2×52.2cm
- 11**
熊谷 守一
シヂミ蝶
1958年
油彩、板
23.6×32.8cm
- 12**
安田 毅彦
梅花定窯瓶
1963年
膠彩、紙
53.0×45.5cm
- 13**
秋野 不矩
沼
1999年
膠彩、紙
113.0×115.0cm
- 14**
横山 大観
焚火
1914年
膠彩、墨、絹布
各162.7×183.8cm(二曲一雙屏風)
- 15**
前田 青邨
二日月
1946年
墨、膠彩、紙
79.5×109.0cm
- 16**
小林 古径
羅浮仙
1920年
膠彩、紙
150.0×48.0cm
- 17**
斎藤 義重
作品
1959年
油彩、板
150.0×120.7cm

- 18**
高松 次郎
板の単体(赤)
1970年
ラッカー、木
177.0×177.0cm
- 19**
高松 次郎
板の単体(黒)
1970年
ラッカー、木
228.0×108.0cm
- 20**
高松 次郎
板の単体(青)
1970年
ラッカー、木
288.0×60.0cm

展示室 6

- 21**
小堀 四郎
冬の星
1953年
油彩、カンヴァス
45.7×65.5cm
- 22**
小堀 四郎
星と雲
1955年
油彩、カンヴァス
45.4×53.2cm
- 23**
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4cm
- 24**
小堀 四郎
チグリズ河畔 車中より望む
1976年
バステル、紙
28.2×38.3cm
- 25**
小堀 四郎
アブ・マリア部落
1976年
バステル、鉛筆、紙
28.2×38.6cm
- 26**
小堀 四郎
古都バウダット ユーカリの古樹の並木
- 1976年
バステル、水彩、鉛筆、紙
28.2×38.6cm
- 27**
小堀 四郎
サマラ市遠望
1976年
バステル、鉛筆、紙
28.2×38.2cm
- 28**
小堀 四郎
モスール市の街はずれ
1976年
バステル、鉛筆、紙
28.1×38.2cm
- 29**
小堀 四郎
テル・エル・サラサートにて
1976年
バステル、鉛筆、紙
27.0×39.7cm
- 30**
小堀 四郎
古都バウダット 日本大使館近く
1976年
バステル、鉛筆、紙
28.2×38.2cm
- 31**
小堀 四郎
アブ・マリアの南 テル・エ・サラサートにて
1976年
バステル、鉛筆、水彩、紙
28.2×38.7cm
- 32**
小堀 四郎
シリア砂漠
1976年
水彩、バステル、紙
27.2×39.3cm
- 33**
小堀 四郎
人生とは
1982年
油彩、カンヴァス
162.5×130.5cm
- 34**
小堀 四郎
雲がくれ
1983年頃
バステル、ボールペン、厚紙
17.7×21.8cm

展示室 7	1985年
	アプリケ
35	85.7×30.2cm
宮脇 晴	
ボタン	44
1921年	宮脇 綾子
油彩、カンヴァス	いい形・いい布
45.5×37.9cm	1986年
	アプリケ
36	90.5×157.2cm
宮脇 晴	
風船売り	45
1938年	宮脇 綾子
油彩、カンヴァス	ひもと遊ぶ
97.0×145.5cm	1986年
	アプリケ
37	33.6×33.6cm
宮脇 晴	
仲田風景	46
1922年頃	宮脇 綾子
油彩、カンヴァス	骨・美味なり
60.7×68.3cm	1986年
	アプリケ
38	54.5×49.5cm
宮脇 晴	
やぶの路	47
1921年	宮脇 綾子
油彩、カンヴァス	たいやき
33.3×45.5cm	1989年
	アプリケ
39	35.0×36.5cm
宮脇 晴	
柿	
1929年頃	
油彩、カンヴァス	
37.9×45.5cm	
40	
宮脇 綾子	
蝶に椿の花をそえて	
1973年	
アプリケ	
33.8×54.2cm	
41	
宮脇 綾子	
山うど	
1976年	
アプリケ	
26.7×23.6cm	
42	
宮脇 綾子	
しゃこ二匹	
1981年	
アプリケ	
27.3×24.3cm	
43	
宮脇 綾子	
花をさしたたこ	

高橋節郎館 第1期常設展示

2016年4月16日[土] - 6月26日[日]

54日間
高橋節郎館

01	187.8×181.6cm	18	花今がよし
高橋 節郎		高橋 節郎	制作年不詳
夢・太古の星座		洞 1	書ノ墨、水彩、紙
1995年		1963年	81.3×25.3cm
鎔金、箔押、螺鈿、堆朱	10	モノタイプ(版画)、漆、紙	(公財)高橋記念美術文化振興財団
176.0×86.0cm	高橋 節郎	82.6×55.8cm	
	天宙の記(下絵)	19	27
02	182.0×182.8cm	高橋 節郎	高橋 節郎
高橋 節郎		昆虫記 I	春色
夢・縄文の星座		1989年	1984年
1996年	11	染付、陶器	墨、水彩、紙
鎔金、箔押、螺鈿、堆朱	高橋 節郎	1.5×27.0×34.8cm	47.2×63.4cm
176.0×86.0cm	古墳借景(下絵)	20	28
	1977年頃	高橋 節郎	高橋 節郎
03	176.0×170.0cm	昆虫記 II	春霞
高橋 節郎		1989年	1986年
古墳映像	12	染付、陶器	墨、水彩、紙
1976年	高橋 節郎	1.3×27.0×35.0cm	95.0×62.0cm
鎔金、螺鈿	壺気楼「空中都市」(下絵)	21	(公財)高橋記念美術文化振興財団
175.5×173.2cm	1960年頃	高橋 節郎	29
	鉛筆、紙	昆虫記 III	高橋 節郎
04	187.8×181.6cm	1989年	明けゆく山湖
高橋 節郎		染付、陶器	制作年不詳
遠森の記	13	1.1×28.2×32.2cm	墨、水彩、紙
1974年	高橋 節郎	22	45.4×46.2cm
鎔金	宙	高橋 節郎	30
175.8×163.4cm	1977年	昆虫記 VII	高橋 節郎
	鎔金	1989年	地平線の見える静物
05	121.3×85.0cm	1.4×27.0×35.2cm	1965年
高橋 節郎		23	鎔金
古墳借景	14	高橋 節郎	37.0×44.0cm
1978年	高橋 節郎	昆虫記 VIII	(公財)高橋記念美術文化振興財団
鎔金、螺鈿	化石	1989年	31
176.0×170.0cm	1963年	染付、陶器	高橋 節郎
	彩繪絵	1.1×32.3×28.0cm	花のセシナード
06	180.0×150.0cm	24	制作年不詳
高橋 節郎		高橋 節郎	鎔金
天宙の記	15	昆虫記 IX	27.5×22.3cm
1972年	高橋 節郎	1989年	(公財)高橋記念美術文化振興財団
鎔金	運かなる郷愁	染付、陶器	32
182.0×182.8cm	1956年	1.1×32.3×28.1cm	高橋 節郎
	鎔金	25	花天
07	157.5×109.0cm	高橋 節郎	1990年
高橋 節郎		昆虫記 X	鎔金、螺鈿、堆朱
星座回帰	16	1989年	90.7×116.6cm
1986年	高橋 節郎	染付、陶器	(公財)高橋記念美術文化振興財団
鎔金、螺鈿、堆朱	地層 B	1.1×32.3×28.1cm	33
176.7×173.7cm	制作年不詳	26	高橋 節郎
	モノタイプ(版画)、漆、紙	高橋 節郎	遠い森の記憶
08	74.5×96.0cm	咲き競う 平戸の橋の桜花 しばしの時を 散り	1974年
高橋 節郎		急ぎまじ	鎔金
広間に置く棚「作品58」	17	制作年不詳	115.1×90.8cm
1958年	高橋 節郎	書ノ墨、水彩、紙	
堆朱絵、箔押	洞 2	81.2×25.1cm	
75.0×125.5×50.0cm	1963年	(公財)高橋記念美術文化振興財団	
	モノタイプ(版画)、漆、紙	26	
09	55.7×62.6cm	高橋 節郎	
高橋 節郎		便りきし 吉野の桜まだという ころもの里の	
壺気楼「空中都市」			
1961年			
朱印き塗、鎔金			

- 34**
高橋 節郎
樹下小憩
1980年
鍍金、螺鈿
120.0×87.3cm
- 35**
高橋 節郎
花
1993年
墨、水彩、紙
60.0×45.0cm
- 36**
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5cm
寄託作品
- 37**
高橋 節郎
フルート：銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 38**
高橋 節郎
フルート：金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 39**
高橋 節郎
ハーブ：銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 40**
高橋 節郎
クラリネット：ペガ
2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3cm、Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 41**
高橋 節郎
クラリネット：アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2cm、Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 42**
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 43**
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 44**
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鍍金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm
- 45**
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm

高橋節郎館 第2期常設展示

2016年7月15日 [金] - 9月25日 [日]

66日間

高橋節郎館

- 01**
高橋 節郎
紋
1972年
鍍金、彩錆絵
121.0×90.8cm
- 02**
高橋 節郎
標
1978年
鍍金、螺鈿
121.3×85.0cm
- 03**
高橋 節郎
遠い記録
1973年
鍍金、螺鈿
120.9×98.0cm
- 04**
高橋 節郎
古墳悠悠
1985年
鍍金、螺鈿、堆朱
176.3×173.0cm
- 05**
高橋 節郎
古墳群映
1977年
鍍金、螺鈿
182.0×172.0cm
- 06**
高橋 節郎
古墳映像
1976年
鍍金、螺鈿
175.5×173.2cm
- 07**
高橋 節郎
雷気楼「空中都市」
1961年
朱印き塗、鍍金
187.8×181.6cm
- 08**
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鍍金、螺鈿
179.2×169.6cm
- 09**
高橋 節郎
地久大恵 1
1993年
木芯乾漆
- 10**
高橋 節郎
地久大恵 2
1993年
木芯乾漆
30.5×13.0×47.5cm
- 11**
高橋 節郎
地久大恵 3
1993年
木芯乾漆
54.0×12.5×23.0cm
- 12**
高橋 節郎
地久大恵 8
1993年
木芯乾漆
53.0×10.5×27.0cm
- 13**
高橋 節郎
地久大恵 9
1993年
木芯乾漆
61.0×13.0×41.0cm
- 14**
高橋 節郎
地久大恵 10
1993年
木芯乾漆
87.5×19.0×37.0cm
- 15**
高橋 節郎
地久大恵 12
1993年
木芯乾漆
27.5×19.0×91.0cm
- 16**
高橋 節郎
地久大恵 13
1993年
木芯乾漆
33.0×51.0×78.0cm
- 17**
高橋 節郎
地久大恵 15
1993年
木芯乾漆
24.5×8.0×24.5cm
- 18**
高橋 節郎
山高水清
- 制作年不詳
墨、水彩、紙
175.0×365.0cm(六曲一隻屏風)
- 19**
高橋 節郎
山脈
1989年
墨、水彩、紙
91.0×181.0cm
- 20**
高橋 節郎
峻岳
1989年
墨、水彩、紙
94.0×181.4cm
- 21**
高橋 節郎
晩彩
1992年
墨、水彩、紙
45.0×90.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 22**
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm
- 23**
高橋 節郎
海(夏)
1993年
鍍金、彩錆絵、螺鈿
3.0cm、Φ41.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 24**
高橋 節郎
酒場
1955-64年
彩錆絵
Φ27.2cm
- 25**
高橋 節郎
鏡 B
1955-64年
彩錆絵
Φ27.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 26**
高橋 節郎
街角
1955-64年
彩錆絵
- Φ27.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- Φ27.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 27**
高橋 節郎
婦人像 A
1955-64年
彩錆絵
Φ27.3cm
- 28**
高橋 節郎
赤い絨毯
1955年
鍍金
72.8×60.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 29**
高橋 節郎
青い絨毯
1955年
鍍金
72.7×60.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 30**
高橋 節郎
都会の朝
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
41.0×33.0cm
- 31**
高橋 節郎
サクランボ
制作年不詳
鉛筆、水彩、紙
38.0×53.8cm
- 32**
高橋 節郎
アネモネ
1969年
鉛筆、水彩、紙
37.9×53.8cm
- 33**
高橋 節郎
円の中のさくらんぼ(薫風)
1987年
鍍金、螺鈿、堆朱
1.3cm、Φ41.3cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 34**
高橋 節郎
二等辺三角水盤 1
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×30.0cm

- 35**
高橋 節郎
二等辺三角水盤 2
1945-54年
金胎漆器
4.0×25.0×35.0cm
- 36**
高橋 節郎
飾盆 葡萄
制作年不詳
彩漆
Φ27.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 37**
高橋 節郎
飾盆 風信子
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm
- 38**
高橋 節郎
飾盆 百合
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm
- 39**
高橋 節郎
飾盆 果物
1955-64年
漆絵
Φ27.4cm
- 40**
高橋 節郎
鍍金四方盆 花
1994年
蒔絵
3.0×23.0×23.0cm
- 41**
高橋 節郎
下町風景 深川
制作年不詳
墨、水彩、紙
128.0×64.5cm
- 42**
高橋 節郎
川辺風景
制作年不詳
墨、紙
35.5×44.9cm
- 43**
高橋 節郎
扇面 我眉山
制作年不詳
- 墨、水彩、紙
110.0×60.0cm
- 44**
高橋 節郎
阿蘇
制作年不詳
墨、水彩、紙
112.0×68.0cm
- 45**
高橋 節郎
街
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
43.8×63.0cm
- 46**
高橋 節郎
邑
1959年
モノタイプ(版画)、漆、紙
63.3×75.8cm
- 47**
高橋 節郎
日月の宮〜日
制作年不詳
呂色塗、蒔絵
13.5×44.5×25.5cm
- 48**
高橋 節郎
日月の宮〜月
制作年不詳
呂色塗、蒔絵
14.0×50.5×25.0cm
- 49**
高橋 節郎
ゴッホの役場
1998年
墨、水彩、紙
30.0×22.0cm
- 50**
高橋 節郎
ゴッホの教会
1998年
墨、水彩、紙
30.0×22.0cm
- 51**
高橋 節郎
ゴッホの麦畑
制作年不詳
水彩、墨、紙
23.1×30.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団

- 52**
高橋 節郎
旅の印象 籠
制作年不詳
墨、水彩、紙
45.8×28.0cm
- 53**
高橋 節郎
旅の印象 マイン河畔
制作年不詳
墨、水彩、紙
28.4×46.1cm
- 54**
高橋 節郎
ニース旧市街
制作年不詳
水彩、墨、紙
31.0×11.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 55**
高橋 節郎
旅の印象
制作年不詳
墨、紙
46.4×62.8cm
- 56**
高橋 節郎
山寺
1986年
墨、紙
93.8×63.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 57**
高橋 節郎
当麻寺
1982年以前
墨、紙
28.5×44.0cm
- 58**
高橋 節郎
古都所見 聖林寺
1982年
墨、紙
30.4×45.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 59**
高橋 節郎
古都の民家
1982年以前
墨、水彩、紙
44.0×28.5cm
- 60**
高橋 節郎
ハーブ：銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 61**
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鍍金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

高橋節郎館 第3期常設展示

2017年1月14日[土]〜4月2日[日]

69日間

高橋節郎館

- 01**
高橋 節郎
夢・太古の星座
1995年
鍍金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm
- 02**
高橋 節郎
夢・織文の星座
1996年
鍍金、箔押、螺鈿、堆朱
176.0×86.0cm
- 03**
高橋 節郎
化石の山
1997年
木芯乾漆
30.0×74.0×17.0cm
- 04**
高橋 節郎
森魂
1997年
木芯乾漆
37.0×97.0×20.0cm
- 05**
高橋 節郎
地久大恵 10
1993年
木芯乾漆
87.5×19.0×37.0cm
- 06**
高橋 節郎
星座物語
1994年
鍍金
176.0×173.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 07**
高橋 節郎
地久大恵 13
1993年
木芯乾漆
33.0×51.0×78.0cm
- 08**
高橋 節郎
地久大恵 3
1993年
木芯乾漆
54.0×12.5×23.0cm
- 09**
高橋 節郎
地久大恵 4
1993年
- 木芯乾漆
71.0×14.5×14.5cm
- 10**
高橋 節郎
地久大恵 5
1993年
木芯乾漆
50.5×10.5×21.0cm
- 11**
高橋 節郎
地久大恵 8
1993年
木芯乾漆
53.0×10.5×27.0cm
- 12**
高橋 節郎
星座回帰
1986年
鍍金、螺鈿、堆朱
176.7×173.7cm
- 13**
高橋 節郎
森神
1995年
木芯乾漆
56.0×78.0×12.0cm
- 14**
高橋 節郎
乾漆壺 1
1989年
乾漆
91.7cm、Φ12.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 15**
高橋 節郎
乾漆壺 4
1989年
乾漆
24.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 16**
高橋 節郎
乾漆壺 19
1989年
乾漆
91.5cm、Φ12.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 17**
高橋 節郎
乾漆壺 20
1989年
乾漆
40.6cm
- (公財)高橋記念美術文化振興財団
- 90.7×116.6cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 18**
高橋 節郎
乾漆壺 11
1989年
乾漆
50.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 19**
高橋 節郎
乾漆壺 13
1989年
乾漆
46.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 20**
高橋 節郎
乾漆壺 15
1989年
乾漆
101.5cm、Φ19.9cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 21**
高橋 節郎
乾漆壺 16
1989年
乾漆
93.5cm、Φ20.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 22**
高橋 節郎
広間に置く棚『作品58』
1958年
堆朱絵、箔押
75.0×125.5×50.0cm
- 23**
高橋 節郎
杉の木の実話
1959年
鍍金、螺鈿、堆朱
121.4×243.2cm
- 24**
高橋 節郎
万化
1991年
鍍金、螺鈿、堆朱
95.7×116.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 25**
高橋 節郎
花天
1990年
鍍金、螺鈿、堆朱
- 26
高橋 節郎
花のセレナード
制作年不詳
鍍金
27.5×22.3cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 27
高橋 節郎
大樹の詩
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
42.0×33.0cm
- 28
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm
- 29
高橋 節郎
遠い森の記憶
1974年
鍍金
115.1×90.8cm
- 30
高橋 節郎
白馬三山
制作年不詳
墨、水彩、紙
57.5×94.3cm
- 31
高橋 節郎
山陵
1989年
墨、水彩、紙
61.3×93.6cm
- 32
高橋 節郎
嶽
1984年
墨、紙
93.0×184.0cm
- 33
高橋 節郎
アルプスの山(雪)
制作年不詳
墨、紙
43.8×89.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団

- 34**
高橋 節郎
街角
1985年
墨、水彩、紙
13.0×18.0cm
- 35**
高橋 節郎
壺輪
1985年
墨、水彩、紙
13.0×18.0cm
- 36**
高橋 節郎
聖橋
1985年
墨、水彩、紙
13.0×18.0cm
- 37**
高橋 節郎
花 (色紙)
1996年
書/墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm
- 38**
高橋 節郎
岳 (色紙)
1996年
書/墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm
- 39**
高橋 節郎
風 (色紙)
1996年
書/墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm
- 40**
高橋 節郎
嶽 (色紙)
1990年
書/墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm
- 41**
高橋 節郎
雲 (色紙)
1996年
書/墨、水彩、色紙
27.5×24.5cm
- 42**
高橋 節郎
龍 (色紙)
1996年
書/墨、水彩、色紙
- 27.5×24.5cm
- 43**
高橋 節郎
円の中の杉 (杉風)
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 44**
高橋 節郎
円の中の松 (寿松)
1987年
蒔絵、螺鈿
1.4cm、Φ41.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 45**
高橋 節郎
蒔絵棗 新月
1982年
蒔絵
6.7cm、Φ6.0cm
- 46**
高橋 節郎
蒔絵香合 雲山
1982年
蒔絵
2.0cm、Φ7.2cm
- 47**
高橋 節郎
日月の小宮 日
制作年不詳
金地
4.8×7.0×10.9cm
- 48**
高橋 節郎
日月の小宮 月
制作年不詳
金地
4.7×6.1×12.3cm
- 49**
高橋 節郎
望
1975年
モノタイプ(版画)、漆、紙
82.6×56.1cm
- 50**
高橋 節郎
崖 B
1966年
モノタイプ(版画)、漆、紙
82.6×55.8cm

- 51**
高橋 節郎
瀑
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
81.0×54.0cm
- 52**
高橋 節郎
舐
1975年
モノタイプ(版画)、漆、紙
55.8×82.6cm
- 53**
高橋 節郎
流
制作年不詳
モノタイプ(版画)、漆、紙
106.1×81.3cm
- 54**
高橋 節郎
流雲
1962年
モノタイプ(版画)、漆、紙
119.3×95.0cm
- 55**
高橋 節郎
層煙
1962年
モノタイプ(版画)、漆、紙
119.4×94.7cm
- 56**
高橋 節郎
角力
1951年
モノタイプ(版画)、漆、紙
30.0×25.5cm
- 57**
高橋 節郎
踊り (タンゴ)
1966年
版画
56.1×82.6cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 58**
高橋 節郎
長方形プレート 黒
制作年不詳
化学塗料、鉄
2.5×29.5×44.5cm
- 59**
高橋 節郎
長方形プレート 白
制作年不詳
- 化学塗料、鉄
31.0×61.0cm
- 60**
高橋 節郎
灰皿: シルクハット バイオレット
1953年
化学塗料、鉄
7.6×12.3×10.5cm
- 61**
高橋 節郎
灰皿: シルクハット レモン
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.6cm
- 62**
高橋 節郎
灰皿: シルクハット レッド
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.2cm
- 63**
高橋 節郎
花花花
制作年不詳
水彩、墨、紙
60.5×47.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 64**
高橋 節郎
ハーブ: 銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 65**
高橋 節郎
ピアノ: 宇宙紀行
1995年
鍍金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm

山本富章 | 斑粒・ドット・拍動

2016年4月16日 [土] - 6月26日 [日]

54日間

展示室 1、アトリウム

山本富章(1949-)は圧倒的なスケールと強烈な色彩の絵画作品によって国内外で評価されてきた画家である。活動の当初から愛知を拠点に、現在は豊田市西中山町の昭和の森近郊にアトリエを構えて制作を続けている。本展では山本が1980年代から追究してきた「ドット(色斑/粒)」による二つの新作を発表した。ひとつは、豊田市美術館の特徴的な空間であるアトリウムの高さ約10m横20mのガラス面に14,000個の小さな立体絵画を展開する《bugs》。もうひとつは、立ち枯れの切株を鉛筆で写し取ったフロッターージュである。そこでは「ドット」が自然のなかに再び見いだされる。さらに、70年代末から80年代にかけての色斑の発生をみることが出来る初期のコラージュや、横13mにもなる大規模な絵画を加え、独自の絵画の方法で知られる作家の「ドット」の魅力に迫れるよう、新作と旧作の組み合わせによる個展とした。

観覧料:一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円]

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]

主催:豊田市美術館

出品点数:15点

観覧者数:51,635人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

【アーティストトーク】

講師:山本富章(画家)

日時:4月30日[土] 午後3時-4時

会場:講堂

【学芸員によるギャラリートーク】

日時:5月5日[木・祝]、6月5日[日]

午後2時-3時

【ワークショップ「ジャンボクレヨンで影の絵を描こう」】

講師:山本富章(画家)

日時:6月11日[土] 午後2時-4時

会場:ワークショップルーム

【パフォーマンス 黒沢美香×太田恵資】

出演:黒沢美香(ダンサー)、太田恵資(ヴァイオリニスト)

日時:6月19日[日] 午後6時-7時

会場:展示室1

【作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー】

木曜日を除く毎日午後2時-(土、日、祝日は午前11

時-、午後2時-/関連事業開催日は午前11時-)

印刷物:

チラシ: A4判

リーフレット: A2判八つ折り

グラフィックデザイン: 藤本康一(藤本組)

作品輸送・展示:

ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営: 株式会社カタノ工房

学芸担当: 鈴木俊晴

庶務担当: 森花子



チラシ

01
山本 富章
bugs
2015-16年
アクリル、木、金具
0.7×75×1.0cm (14,000個)
作家蔵

02
山本 富章
2007
2007年
アクリル、木
75.0×75.0×103.0cm、75.0×75.0×90.0cm

03
山本 富章
Untitled
1987年
ミクストメディア
264.5×263.0×76.5cm

04
山本 富章
Festival on the Stage
1989年
ミクストメディア、パネル
410.0×1300.0×190.0cm (奥行可変)
作家蔵

05
山本 富章
Untitled
1978年
グラファイトペンシル、紙
47.0×67.0cm
作家蔵

06
山本 富章
Untitled
1978年
グラファイトペンシル、紙
47.0×67.0cm
作家蔵

07
山本 富章
Untitled
1978年
グラファイトペンシル、水彩、紙
47.0×67.0cm
作家蔵

08
山本 富章
Untitled
1978年
グラファイトペンシル、水彩、紙
47.0×67.0cm
作家蔵

09
山本 富章
Untitled
1978年
グラファイトペンシル、水彩、紙
47.0×134.0cm
作家蔵

10
山本 富章
Untitled
1979年
グラファイトペンシル、クーピーペンシル、
水彩、紙
47.0×134.0cm
作家蔵

11
山本 富章
Untitled
1979年
グラファイトペンシル、紙
106.0×86.0cm
作家蔵

12
山本 富章
Untitled
1981年
アクリル、グラファイトペンシル、綿布カラー
ジュ、紙
48.0×78.5cm
作家蔵

13
山本 富章
Untitled
1981年
アクリル、リトグラフ、エンボス、紙
75.5×106.0cm
作家蔵

14
山本 富章
Untitled
1987年
ミクストメディア、パネル
255.5×238.0×72.5cm
作家蔵

15
山本 富章
in the forest
2007-16年
グラファイト、紙
42.0×29.7cm (800枚)
作家蔵

絵画凸凹

2016年4月16日 [土] - 6月26日 [日]

54日間

展示室 2-4

絵画は二次元の平面であるとされる。しかし実際のところ、画面の凸凹や絵具と支持体(カンヴァスや木枠)の積み重なった構造を考えると、絵画はかならずしも平坦なわけではなく、きわめて立体的なつくりをしている。1960-1970年代には、絵画や彫刻といった芸術の範疇をふくめ、あらゆる概念が厳しく問い直されるなか、画家たちは身近な手元から、日用品などのチープな素材から、空間や言語の成り立ちからといった、さまざまな角度から絵画の表現を検証するようになった。そこで、今回のコレクション展では、1970年代以降、平面と空間の凸凹の関係をあらためて見つめなおし、従来の絵画のあり方を乗り越え、新しい時代のための方法を模索する6人の画家たちの作品を紹介した。

豊田市美術館はひとりの作家の作品を収蔵するにあたって、その作家の展開を追えるように複数点の作品を収蔵することを目指してきたが、開館20周年記念コレクション展の第三弾として「一展示室、一作家」の構成で、20世紀後半からの絵画の方法を探った。

観覧料: 一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円]

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]

主催: 豊田市美術館

出品点数: 24点

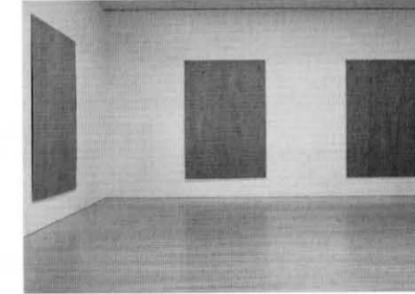
観覧者数: 51,635人



展示風景



展示風景



展示風景

印刷物:

リーフレット: A4判、8ページ

グラフィックデザイン: 藤本康一 (藤本組)

作品輸送・展示:

ヤマトロジスティクス株式会社

会場施工: 株式会社カトウスタチオ

学芸担当: 鈴木俊晴、千葉真智子

庶務担当: 森花子

- 01**
李 禹煥
項 1
1973年
木版、紙
82.0×41.5cm
- 02**
李 禹煥
項 2
1973年
木版、紙
87.0×27.0cm
- 03**
李 禹煥
項 C
1979年
木版、紙
64.5×52.0cm
- 04**
李 禹煥
刻みより
1973年
木
99.0×141.0×4.0cm
- 05**
李 禹煥
照応
1995年
油彩、岩絵具、カンヴァス
259.0×194.0cm
- 06**
榎田 伸也
触風景
1975、85年
油彩、カンヴァス
162.0×180.0cm
- 07**
榎田 伸也
通り過ぎた風景(山々)
1999年
油彩、カンヴァス
182.0×259.0cm
- 08**
彦坂 尚嘉
五十一音によるブラクティス
1975年
紙にタイプ打ち
あ音の1 1行:73.0×25.0cm、い音の1 1行:73.0×25.0cm、う音の1 1行:73.0×25.0cm、え音の1 1行:73.0×25.0cm(2点組)、え音の1 1行:73.0×25.0cm(3点組)
- 09**
彦坂 尚嘉
無題(ウッドペインティングのためのスタディ)
1976-80年
(367点中52点展示)
- 10**
彦坂 尚嘉
P. W. P. 8(森)
1978年
アクリル、木
66.5×107.2×8.3cm
- 11**
彦坂 尚嘉
P. W. P. 124 絵画都市(自転車)
1988年
アクリル、木
200.0×200.0×47.5cm
- 12**
彦坂 尚嘉
P. S. 6(人体)
1991年
アクリル、木
176.0×85.5×25.5cm
- 13**
北山 善夫
出所
1979年
ミクストメディア
132.0×132.0×18.0cm
- 14**
北山 善夫
「連係」と名付けたが発表後タイトルを放棄
1979年
木、竹、鉄、銅、針金、鉛筆、合板に貼った紙
132.0×91.0×33.0cm
- 15**
北山 善夫
「連係」と名付けたが発表後タイトルを放棄
1979年
木、竹、鉄、銅、真鍮、針金、鉛筆、合板に貼った紙
132.0×91.0×32.0cm
- 16**
北山 善夫
どこかで
1982年
木、竹、紙、革、鉄、鉛、針金、鉛筆、アクリル
136.0×116.0×116.0cm
- 17**
イミ・クネーベル
好い・子
1987年
亜鉛板、銅線
374.0×128.0×64.0cm
- 18**
イミ・クネーベル
戦闘 No. 1
1991年
ラッカー、硬質繊維板
260.0×200.0cm
- 19**
イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 1
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm
- 20**
イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 2
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm
- 21**
イミ・クネーベル
蛍光サンドイッチ No. 3
1992年
アクリル、合板
249.5×169.5×1.8cm
- 22**
イミ・クネーベル
規格 I B1-B4
1994年
アクリル、アルミニウムシート、合板
各34.0×25.3×8.0cm(4点組)
- 23**
プリンキー・バレルモ
無題
1970年
綿布、漂白した綿布、絹、木
200.0×200.0cm
- 24**
プリンキー・バレルモ
無題(セロニアス・モンクに捧げる)
1973年
合板、塗料(黒)、鏡
22.2×89.6×3.2cm

琴線

2016年10月15日[土]—12月25日[日]

62日間
高橋節郎館

私たちの周りにはさまざまな線があふれている。光や水の動き、概念上の線など、悠揚自在に展開する線や弦は、私たちの心の琴線に触れて共鳴を生じる。また高橋節郎の作品の特徴としてあげられる、黒い漆面に浮かび上がる鎔金の形象。ときには金糸のように繊細に、ときには鋼の刃のように表出する線は、垂線や水平線、有機的な曲線と変化にとみ、鮮やかな作品世界を創りだしている。

本展では高橋作品にみられる鎔金の多彩な表現に併せて、豊田市美術館所蔵の国内外の作家による線をイメージさせる作品を、「軌跡」「琴線」「重力」「集積」のテーマを設けて展示した。

観覧料:一般300円[250円]/高校・大学生200円[150円]

[]内は20名以上の団体料金/中学生以下無料

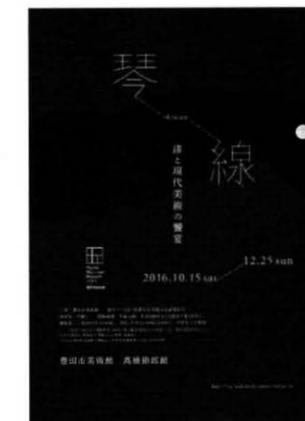
*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料[要証明]

主催:豊田市美術館

後援:(公財)高橋記念美術文化振興財団

出品点数:49点

観覧者数:4,907人



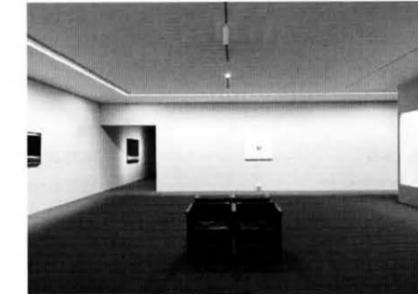
チラシ



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

| 学芸員によるギャラリートーク

11月13日[日]、12月18日[日] 午後3時—

印刷物:

チラシ: A4判

チケット型チラシ: 7.0×14.5cm

ギャラリーガイド: A4判チラシ二つ折り

グラフィックデザイン: AIRS

作品展示: 日本通運株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタチオ

学芸担当: 西崎紀衣

庶務担当: 端浦雅人、森花子

- 01**
野村 仁
天路1910年:ハレー彗星の回帰
1986-89年
写真
83.0×170.0cm
- 02**
野村 仁
天路1986年:ハレー彗星の回帰
1986-87年
写真
70.0×170.0cm
- 03**
野村 仁
天路2062年:ハレー彗星の回帰
1986-89年
写真
83.0×170.0cm
- 04**
高橋 節郎
星座創記
1975年
鍍金
175.9×173.0cm
- 05**
高橋 節郎
古墳月彩
1979年
鍍金、螺鈿
179.2×169.6cm
- 06**
高橋 節郎
壺気楼
1960年
鍍金、彩繪、螺鈿
197.5×182.0cm
- 07**
高橋 節郎
遠森の記
1974年
鍍金
175.8×163.4cm
- 08**
高橋 節郎
古墳借景
1978年
鍍金、螺鈿
176.0×170.0cm
- 09**
高橋 節郎
化石の年輪
1965年
鍍金、彩繪
- 182.8×182.6cm
- 10**
高橋 節郎
悠久の記
1971年
鍍金、彩繪
182.0×182.4cm
- 11**
堀 浩哉
波-15
1985年
アクリル、オイルスティック、岩絵具、カンヴァス
227.0×182.0cm
- 12**
堀 浩哉
池へ-81.4
1981年
アクリル、カンヴァス
227.0×182.0cm
- 13**
中西 夏之
山頂の石蹴り No.0
1969年
油彩、カンヴァス
73.5×91.0cm
- 14**
毛利 武士郎
作品(ハルサー)
1957年
鉄
132.0×108.0×108.0cm
- 15**
高橋 節郎
童子神
1995年
木芯乾漆
322.0×146.0cm、Φ60.0cm
- 16**
井田 照一
Surface is the Between-Between
Vertical and Horizon-Complex Contact-
Finger Echo-Black No.150
1981年
アクリル、顔料 カンヴァスの両面に彩色、カンヴァス
50.0×50.0×10.0cm
- 17**
井田 照一
Surface is the Between-Between
Vertical and Horizon, T108
1979年
油彩、カンヴァス
- 50.0×50.0×4.0cm
- 18**
イケムラレイコ
黒の中
1999年
油彩、カンヴァス
110.5×150.5cm
- 19**
浅野 弥衛
作品
1972年頃
油彩、カンヴァス
72.5×91.0cm
- 20**
李 禹煥
項 D
1979年
木版、紙
44.5×59.5cm
- 21**
高橋 節郎
万化
1991年
鍍金、螺鈿、堆朱
95.7×116.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 22**
関根 伸夫
空相-布と石
1973年
布、石、ロープ
90.6×100.0cm、ロープ188.0cm
- 23**
ゲオルク・バゼリッツ
バラノイア・マーチ
1967年(1968年刷)
ドライポイント、紙
31.6×23.8cm
- 24**
篠田 守男
テンションとコンプレッション 30
1961、92年
ブロンズ、ステンレスワイヤー、アルミニウム
60.0×160.0×35.0cm
- 25**
ピエロ・マンゾーニ
8.01メートルの線
1959年
インク、紙、紙筒
紙巻801.0×21.7cm、筒Φ5.6cm

- 26**
エゴン・シーレ
自画像
1914年(1922年刷)
ドライポイント、紙
22.0×18.0cm
- 27**
駒井 哲郎
鎮魂歌
1965年
エッチング、紙
27.0×20.2cm
- 28**
ダニエル・ビュレン
定まらないフォルムの絵画
1966年
アクリル、ストライプの入った麻布
200.0×200.0cm
- 29**
トニー・クラッグ
無題
1996年
鉛筆、紙
42.0×42.0cm
- 30**
浅野 弥衛
無題
1988年
油彩、カンヴァス
65.0×91.0cm
- 31**
猪熊 弦一郎
都市概念
1966年
油彩、カンヴァス
194.0×112.0cm
- 32**
猪熊 弦一郎
美しき地下天国
1977年
アクリル、カンヴァス
111.7×96.7cm
- 33**
高橋 節郎
宙
1977年
鍍金
121.3×85.0cm
- 34**
高橋 節郎
遠い記録
1973年
鍍金、螺鈿

- 120.9×98.0cm
- 35**
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 1
1994年
鍍金
3.0×23.1×23.0cm
- 36**
高橋 節郎
鍍金線紋四方盆 琴弦 2
1994年
鍍金
3.0×23.0×23.0cm
- 37**
高橋 節郎
鍍金線紋棗 琴弦
1982年
鍍金
6.4cm、Φ6.7cm
- 38**
モーリツ・コルネリス・エッシャー
<方形の極限>のドローイング 2/24
1956年頃
色鉛筆、紙
18.9×25.1cm
- 39**
モーリツ・コルネリス・エッシャー
<方形の極限>のドローイング 5/24
1956年頃
ボールペン、方眼紙
18.7×25.0cm
- 40**
モーリツ・コルネリス・エッシャー
<方形の極限>のドローイング 11/24
1956年頃
色鉛筆、紙
9.0×9.0cm
- 41**
高橋 節郎
樹下小憩
1980年
鍍金、螺鈿
120.0×87.3cm
- 42**
高橋 節郎
フルート: 銀河
2001年
プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団

- 43**
高橋 節郎
フルート: 金河
2001年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
67.0cm、Φ2.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 44**
高橋 節郎
ハーブ: 銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 45**
高橋 節郎
ピアノ: 宇宙紀行
1995年
鍍金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm
- 46**
高橋 節郎
クラリネット: ペガ
2005年
プラチナ箔みだれ押し
68.3cm、Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 47**
高橋 節郎
クラリネット: アルタイ
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
68.2cm、Φ7.5cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 48**
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団
- 49**
高橋 節郎
クラリネットケース
2005年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
4.5×73.0×12.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団

切断してみる—二人の耕平

2017年1月14日 [土]— 4月2日 [日]
69日間
展示室 1-3

私は常に、誰かや何かとつながり、誰かや何かを気にしている。私の行動や嗜好は、履歴をもとに分析され、私は私向けに提供された情報やモノを、知らず知らずのうちに、あるいはそうだと知りながら進んで選んでいる。私は、過剰につながった人やモノ・情報の網の目のなかで、行動を規定され、無自覚に一あるいは半ば自覚的に、期待された振る舞いを選択しているとも言えるだろう。

ではその網の目が不意に断ち切られたとしたら？私は本来の(?)私を取り戻すことができるのだろうか。それとも私を意識する必要のなくなった私は、私を失うことになるのだろうか。そこでは、等しくバラバラになったモノ同士が新たに接続し直し、世界ががらりと別の姿を現すことになるのかもしれない。

映像を主な媒体としながら、他者をその中に積極的に紹介させることで作品を制作してきた小林耕平と高橋耕平。本展では、偶然にも同じ名前を持つ二人の耕平が、「切断」をテーマに作品に取り組んだ。私たちの生を規定する制度やシステム、概念など、本来、私たちが生きやすいようにとして出来上がったはずのこれらのものを根っこから引き抜き、切り刻む。切断にまつわる5つの課題。その実践の先に別の世界が姿を現わすのだろうか。

観覧料:一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円]

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]

主催:豊田市美術館

出品点数:9点

観覧者数:7,457人



ポスター



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:

■ 対談「切断トーク」

出演:小林耕平(美術作家)、高橋耕平(美術作家)

日時:1月14日[土] 午後2時—

会場:展示室1-3

■ クロージングイベント

4月2日[日] 午後2時—

出演:佐々木敦(批評家)、小林耕平(美術作家)、

高橋耕平(美術作家)、千葉真智子(当館学芸員)

日時:4月2日[日] 午後2時—

会場:展示室3

■ 学芸員によるギャラリートーク

1月28日[土]、2月12日[日]、3月19日[日]

いずれも午後2時—

■ 作品ガイドボランティアによるギャラリートัวร์

木曜日を除く毎日午後2時—(土、日、祝日は午前11

時—、午後2時—/関連事業開催日は午前11時—)

印刷物:

ポスター: B2判、B3判

チラシ: A3判

リーフレット: A3判(両面二つ折り)

図録: B5判 / 94ページ

グラフィックデザイン: 大西正一

学芸担当: 千葉真智子

庶務担当: 森花子

01

小林 耕平

神村・福留・小林・切断

2017年

映像(22分25秒)、衣服

出演: 神村恵、福留麻里

02

高橋 耕平

Field Reading_Toyota_01082017

Field Reading_Tokyo_akihabara_09102016

Field Reading_Tokyo_shibuya_09102016

Field Reading_Otsu-Mano_12302016

Field Reading_kyoto-Route1_12312016

2017年

サウンド・インスタレーション

録音・声: 高橋耕平

03

小林 耕平

二重・跳び

2017年

アクリル絵具、A画学紙 / シルクスクリーン、

アクリル板、木材

04

高橋 耕平

忘却の周辺

2017年

採取物(紙、粘着テープ、他)

05

小林 耕平

子が親を生む

2017年

亜鉛スパイラルダクト、ロープ、図版コピー

図版遊び: 小林耕平、千葉真智子、箱山朋実

06

高橋 耕平

輝いの動作—「あなた」への落とし前

2017年

映像(26分42秒)、木材、他

撮影: 山城大督

07

小林 耕平

風景

2017年

映像(7分06秒)、オブジェクト

出演: 小林耕平、山形育弘

撮影: 高橋耕平

字幕: 岡田和奈佳

08

高橋 耕平

かつて「大西」を名乗った者達への聞き取り

2017年

映像(36分52秒)、シルクスクリーン、木材、他

出演: 高橋八重子、熊崎照美、島津文代

聞き手: 大西耕平 / 高橋耕平

撮影: 高橋耕平

09

小林 耕平 × 高橋 耕平

誰もいない

・人類滅亡後にも残したい作品

・再生機

・人間でないものに向けた作品

2017年

映像(18分03秒)、オブジェクト

出演・撮影: 小林耕平、高橋耕平

字幕: 岡田和奈佳

浅野弥衛—コレクションを中心に

2017年1月14日[土]—4月2日[日]

69日間

展示室 4

当館が最初に所蔵した浅野弥衛(1914-1996)の作品は《彫刻のある室内》(1955年)であった。これは、1959年の伊勢湾台風に被災し、それまで制作した作品の多くを失った浅野弥衛の、現存する貴重な初期作品である。その後、複数の方から作品の寄贈を受け現在は23点を所蔵し、寄託作品とあわせると初期から晩年までの浅野弥衛作品を有している。

浅野の作品は白黒の線や点、幾何学的な図柄や模様を用いた抽象絵画である。ともすると硬質な印象の画面に深みや温かみをもたらしているのは、手わざの痕跡としての描線だろう。今回は、没後20年という節目にあわせ、所蔵及び寄託作品の全てを展示した。それとともに、スケッチブックや作家が生前使用していた画材類などの借用資料、さらにスケッチブックの中身や生前の浅野の写真を会場内でスライド上映するなど、鑑賞者に作品を身近に感じてもらおう構成とした。

観覧料：一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円]

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]

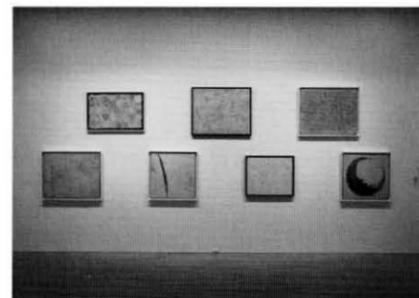
主催：豊田市美術館

出品点数：64点

観覧者数：7,457人



チラシ



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業：

■ 講演会「引っかき・たがやし・ハムラビ・縞・むしむし……浅野弥衛の作品」

講師：石崎勝基（美術史家）

日時：2月4日[土] 午後2時—3時30分

■ 学芸員によるギャラリートーク

1月21日[土]、2月16日[木]、3月16日[木] 午後2時—

■ 作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー

木曜日を除く毎日午後2時—（土、日、祝日は午前11

時—、午後2時— / 関連事業開催日は午前11時—）

印刷物：

チラシ：A4判

DM：定型はがき

作品リスト：A4判二つ折り

グラフィックデザイン：藤本康一（藤本組）

作品輸送・展示：

ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営：株式会社カトウスタチオ

学芸担当：成瀬美幸

庶務担当：森花子

01 浅野 弥衛
彫刻のある室内
1955年
油彩、カンヴァス
60.6×72.7cm

02 浅野 弥衛
作品 No.5
1956年
油彩、カンヴァス
61.0×73.0cm

03 浅野 弥衛
作品
1960年
油彩、カンヴァス
65.2×90.8cm
寄託作品

04 浅野 弥衛
作品
1963年
油彩、カンヴァス
72.7×72.7cm
寄託作品

05 浅野 弥衛
無題
1965年
油彩、カンヴァス
60.6×72.7cm
寄託作品

06 浅野 弥衛
作品
1965年頃
油彩、カンヴァス
72.5×90.7cm
寄託作品

07 浅野 弥衛
作品
1966年
油彩、カンヴァス
72.4×90.4cm
寄託作品

08 浅野 弥衛
作品
1966年
油彩、カンヴァス
72.7×72.7cm
寄託作品

09 浅野 弥衛
無題
1967年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm
寄託作品

10 浅野 弥衛
作品
1967年
油彩、パステル、カンヴァス
80.5×116.5cm

11 浅野 弥衛
無題
1968年
油彩、カンヴァス
72.5×91.0cm

12 浅野 弥衛
無題
1969年
油彩、カンヴァス
45.5×53.0cm
寄託作品

13 浅野 弥衛
無題
1969年
油彩、カンヴァス
72.7×72.7cm
寄託作品

14 浅野 弥衛
無題
1970年
油彩、カンヴァス
60.6×90.9cm
寄託作品

15 浅野 弥衛
作品
1972年
油彩、カンヴァス
116.4×91.0cm

16 浅野 弥衛
作品
1972年頃
油彩、カンヴァス
72.5×91.0cm

17 浅野 弥衛
作品
1973年
パステル、鉛筆、紙
26.5×20.9cm

18 浅野 弥衛
作品
1973年
パステル、鉛筆、紙
30.9×22.4cm

19 浅野 弥衛
無題
1975年
油彩、カンヴァス
97.0×145.5cm
寄託作品

20 浅野 弥衛
無題
1976年
油彩、カンヴァス
90.9×116.7cm
寄託作品

21 浅野 弥衛
無題
1976年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm
寄託作品

22 浅野 弥衛
無題
1977年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm
寄託作品

23 浅野 弥衛
無題
1978年
墨、パステル、紙
54.0×54.0cm
寄託作品

24 浅野 弥衛
無題
1978年
墨、パステル、紙
54.0×54.0cm
寄託作品

25 浅野 弥衛
作品
1980-83年
鉛筆、紙
62.8×63.9cm

26 浅野 弥衛
作品
1980-83年
鉛筆、紙
55.5×55.5cm

27 浅野 弥衛
無題
1980年頃
鉛筆、紙
64.0×87.5cm

28 浅野 弥衛
作品
1983-84年頃
鉛筆、紙
111.4×79.0cm
寄託作品

29 浅野 弥衛
作品
1983-84年頃
鉛筆、紙
111.4×79.0cm
寄託作品

30 浅野 弥衛
作品
1983-84年頃
鉛筆、紙
111.4×79.0cm
寄託作品

31 浅野 弥衛
作品
1983-84年頃
鉛筆、紙
111.4×79.0cm
寄託作品

32 浅野 弥衛
無題
1983年
鉛筆、紙
78.5×79.0cm
寄託作品

- 33**
浅野 弥衛
無題
1983年
鉛筆、紙
78.5×79.0cm
寄託作品
- 34**
浅野 弥衛
作品
1983年
鉛筆、紙
79.5×78.8cm
- 35**
浅野 弥衛
作品
1983年
鉛筆、紙
64.0×64.0cm
- 36**
浅野 弥衛
無題
1985年
鉛筆、紙
90.1×89.9cm
寄託作品
- 37**
浅野 弥衛
無題
1985年
鉛筆、紙
88.3×69.8cm
- 38**
浅野 弥衛
無題
1985年
鉛筆、紙
88.0×69.3cm
- 39**
浅野 弥衛
無題
1985年
オイルスティック、パステル、板
99.6×42.0cm
- 40**
浅野 弥衛
無題
1985年
オイルスティック、パステル、板
100.0×55.0cm
寄託作品
- 41**
浅野 弥衛
無題
1986年頃
オイルスティック、紙
24.0×27.5cm
- 42**
浅野 弥衛
無題
1987年
油彩、カンヴァス
65.5×91.0cm
- 43**
浅野 弥衛
無題
1988年
オイルスティック、板
76.7×167.5×3.3cm
寄託作品
- 44**
浅野 弥衛
無題
1988年
油彩、カンヴァス
65.2×90.9cm
寄託作品
- 45**
浅野 弥衛
無題
1988年
油彩、オイルスティック、カンヴァス
90.0×65.2cm
寄託作品
- 46**
浅野 弥衛
無題
1988年
油彩、カンヴァス
65.0×91.0cm
- 47**
浅野 弥衛
無題
1989年
油彩、カンヴァス
72.8×116.7cm
- 48**
浅野 弥衛
無題
1990年
油彩、カンヴァス
72.7×116.3cm
- 49**
浅野 弥衛
無題
1990年
油彩、カンヴァス
72.6×117.0cm
- 50**
浅野 弥衛
未完成作品
制作年不詳
鉛筆、紙
63.5×91.0cm
- 51**
浅野 弥衛
スケッチブック
制作年不詳
11冊
個人蔵
- 52**
浅野 弥衛が使用したイーゼル
個人蔵
- 53**
浅野 弥衛が使用した椅子
個人蔵
- 54**
浅野 弥衛が使用したパレットや絵筆など画材類
個人蔵

間を考える

2017年1月14日 [土] - 4月2日 [日]

69日間

展示室 8

この世界にモノが一つでない以上、必ず「間」が存在する。それは空間や時間差といった物理的な間にはじまり、人間の知覚、認識、経験、あるいは概念や制度のうちに存在する間まで様々である。

国と国にある間。西洋を経験した土田麦僊や小杉放庵が文人画的な表現の側へ振れたのはその一つの表れであり、藤田嗣治や山口長男は、フランスや朝鮮というもう一つの国に培われた作家でもあった。自分自身にも間は存在する。毛利武士郎は、20年の空白を経て制作を再開し、斎藤義重は、消失した過去作品を20年以上後に写真をもとに再制作した。大量生産で溢れた社会において、同じであることと違うことの境界はどこにあるのか。パオリーニやピストレットは、美術作品の唯一性や真正さを軽やかに転覆させ、岡崎和郎やオバルカの反復から生じる差異の連鎖も、間を深く考えさせる。間は、私たちの視覚と認識にも作用する。ピュレンの布は布であると同時に縞のイメージであり、高松次郎の単体のコンクリートは、細かく砕かれたことで、同じ質量であるにもかかわらず、別のモノとして出現する。では、究極的には、姿が見えないものを在るとか無いとか言うことはできるのだろうか。ガンダーは、シーツを被った娘の姿を造形化したのが、そこに娘はいるのだろうか。フォンタナの彫刻にある暗い穴は、何も無い空虚なのか、空間という存在なのか。コレクションをもとに、モノとモノの「間」にある可能性について問い直す機会とした。

観覧料：一般 300 円 [250 円]、高校・大学生 200 円 [150 円]、中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金/中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料[要証明]

主催：豊田市美術館

出品点数：54 点

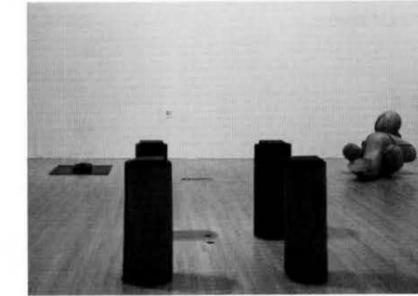
観覧者数：8,045 人



展示風景



展示風景



展示風景

展示：ヤマトロジスティクス株式会社
学芸担当：千葉真智子
庶務担当：森花子

- 01**
今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm
- 02**
速水 御舟
夕陽
1913年
膠彩、絹布
57.7×41.7cm
- 03**
土田 麦僊
雨後図
1915年
膠彩、絹布
143.5×51.2cm
寄託作品
- 04**
小杉 放庵
老君出関
1929年
墨、膠彩、絹布
127.7×36.0cm
- 05**
岸田 劉生
鯨坊主
1922年
油彩、板
41.1×31.5cm
- 06**
吉本 作次
三本の木と聖人の墓
2012-14年
油彩・木炭・鉛筆、カンヴァス
197.0×291.0cm
- 07**
藤田 嗣治
キャンボシヤ平原
1943年
油彩、カンヴァス
40.8×53.0cm
- 08**
香月 泰男
山茶花
1962年
油彩、カンヴァス
27.5×21.5cm
- 09**
香月 泰男
薊
1962年
- 油彩、カンヴァス
19.5×14.5cm
- 10**
香月 泰男
里芋
1959年
油彩、カンヴァス
41.0×24.3cm
- 11**
山口 長男
三ツノ円 A
1949年
油彩、カンヴァス
195.0×300.0cm
- 12**
松江 泰治
gazetteer No.3 1-10
1995-99年
ゼラチンシルバープリント
各66.0×77.0cm(10枚組)
- 13**
毛利 武士郎
作品(バルサー)
1957年
鉄
132.0×108.0×108.0cm
- 14**
毛利 武士郎
Mr. 阿からのメッセージ 第3信
1996年
ステンレス
12.7×50.7×13.0cm
- 15**
毛利 武士郎
Mr. 阿からのメッセージ 第3信(図面)
1996年頃
鉛筆、トレーシングペーパー
59.0×84.0cm
- 16**
斎藤 義重
トロウウッド
1938年(1973年再制作)
アクリル、合板
120.0×100.0cm
- 17**
斎藤 義重
作品
1951年(1973年再制作)
ラッカー、合板
120.0×100.1cm

- 18**
ミケランジェロ・ピストレット
ぼろぎれのヴィーナス
1967年
石膏、ぼろぎれ
160.0×100.0×200.0cm
- 19**
ジュリオ・パオリーニ
もうひとつの像
1984年
石膏
サイズ可変
- 20**
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
6.6×19.9×18.5cm
- 21**
岡崎 和郎
HISASHI
1985年
ブロンズ
8.2×34.5×9.5cm
- 22**
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
11.2×24.0×34.8cm
- 23**
岡崎 和郎
HISASHI
1979年
ABS樹脂に彩色
6.0×23.8×16.4cm
- 24**
岡崎 和郎
HISASHI
1994年
ブロンズ
22.0×148.0×35.0cm
- 25**
岡崎 和郎
HISASHI
1978、90年
アルミニウム
17.5×2.2×13.8cm
- 26**
岡崎 和郎
HISASHI
1993年
ブロンズ
- 3.7×26.5×5.2cm
- 27**
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 2601104-
2626001
1977年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0cm
- 28**
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 3395602-
3411010
1981年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0cm
- 29**
ローマン・オバルカ
オバルカ 1965/1-∞ デティール 4968512-
4988005
1994年
アクリル、カンヴァス
192.0×135.0cm
- 30**
岡崎 乾二郎
(左)「きみにはわからないわね。こどもだもの」・・・(右)「あなたなら聞こえるでしょ。おばさん」・・・
1997年
アクリル、カンヴァス
各180.0×130.0×5.0cm(2枚組)
- 31**
諏訪 直樹
THE ALPHA AND THE OMEGA F-1・
THE ALPHA AND THE OMEGA F-2
1978年
アクリル、カンヴァス
各240.0×286.0×5.6cm(2点組)
- 32**
法貴 信也
無題
2008年
油彩、アルミ積層複合材
111.7×161.5cm
- 33**
設楽 知昭
人雲、一
2007年
油彩、テンペラ、カンヴァス
87.6×67.0cm
- 34**
ボリス・ミハイロフ
イエスタデイズ・サンドイッチ 12
1965-81年

- 写真
147.5×107.5cm
- 35**
榎倉 康二
干涉
油彩、綿布、板
72.5×53.0cm
- 36**
菅 木志雄
ふたつの周囲
1987年
木、鉄
163.0×32.0×85.0cm
- 37**
ダニエル・ビュレン
定まらないフォルムの絵画
1966年
アクリル、ストライプの入った麻布
200.0×200.0cm
- 38**
関根 伸夫
位相 No. 13
1968年
合板、木、ラッカー
224.0×140.0×43.0cm
- 39**
高松 次郎
四つの杉の単体
1970年
スギ
各101.0×34.0×34.0cm(4本)
- 40**
高松 次郎
コンクリートの単体
1971年
コンクリート
40.0×60.0×60.0cm
- 41**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 I
1973年
木、グワッシュ、インク
5.5×35.1×14.9cm
- 42**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 II
1974年
木、鉄
15.3×21.5×15.1cm
- 43**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 III
- 1974年
木、グワッシュ
8.0×35.2×15.0cm
- 44**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 IV
1974年
木
19.7×24.0×19.3cm
- 45**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 V
1974年
木、グワッシュ、インク
21.3×13.0×14.0cm
- 46**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VI
1974年
木、グワッシュ、インク
17.0×23.3×16.9cm
- 47**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VII
1974年
木、インク
6.5×6.7×40.1cm
- 48**
若林 奮
立体ノートー気体・固体・液体・現在 VIII
1974年
木、グワッシュ
14.0×19.0×6.8cm
- 49**
石原 友明
I. S. M. (H)
1989年
発泡スチロール、牛革
115.0×110.0×180.0cm
- 50**
ルーチョ・フォンターナ
空間概念 N3
1959-60年
ブロンズ
63.5×63.5×64.5cm
- 51**
クリスト
梱包
1961年
南京袋、ロープ、ボード
75.0×60.0×20.0cm
- 52**
岡崎 和郎
両の手
1971年
石膏に彩色
6.1×12.7×21.8cm
- 53**
若林 奮
100粒の雨滴 I
1976年
銅、鉄、真鍮
12.6×100.0×100.0cm
- 54**
ライアン・ガンダー
おかあさんに心配しないでといて (6)
2013年
大理石樹脂
84.0×57.0×149.0cm

デトロイト美術館展 大西洋を渡ったヨーロッパの名画たち

2016年4月27日[水]ー6月26日[日]
54日間
展示室 8

デトロイト美術館は1885年に創立以降、自動車産業の繁栄のもと、着実にコレクションを形成してきた。現在では古代エジプト美術から現代美術にいたる幅広いコレクションで知られる、アメリカ合衆国を代表する美術館の一つであり、公立美術館として初めてアメリカ合衆国にゴッホやマティスの作品をもたらしたデトロイト美術館でもある。

本展覧会は65,000点を超えるデトロイト美術館のコレクションの中から、珠玉の52点を紹介。出展作品の約半数に及ぶ印象派やポスト印象派の作品が注目されがちだが、ポスト印象派から刺激を受け、鮮やかな色遣いや大胆な筆致が特徴のデュフィやルオーのフォーヴィスム、ボナール、ドニラナビ派の絵画、さらには20世紀の美術を語るうえで欠かすことはできないマティスやピカソ、またエコール・ド・パリのモディリアーニやスーティンの名品や、ドイツ表現主義の作家たちの作品が一堂に会する、まさに19世紀後半から20世紀前半にいたる美術の潮流を俯瞰しうる貴重な機会となった。

なお本展はデトロイト市と豊田市の姉妹都市提携55周年記念事業として、さらに豊田市美術館開館20周年、リニューアルオープン記念として開催された。

観覧料：一般1,400円 [1,200円] / 高校・大学生1,000円 [800円] / 中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]

主催：豊田市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送、日本経済新聞社、ひまわりネットワーク、エフエムとよた

企画制作：フジテレビジョン 後援：外務省 助成：アメリカ合衆国大使館 協賛：日本写真印刷

協力：デルタ航空、ヤマトロジスティクス

出品点数：52点

観覧者数：86,824人



チラシ



展示風景



展示風景



屋外幕

印刷物：

ポスター：B1判、B2判、B3判
チラシ：A3判（2つ折り）、A4判（先行チラシ）
ギャラリーガイド：A3判二つ折り
グラフィックデザイン：TINY WORKS
カタログ：25.7×18.2cm / 174ページ
*カタログは産経新聞社及びフジテレビジョンが製作
作品展示：ヤマトロジスティクス株式会社
会場設営：株式会社カトウスタジオ
学芸担当：西崎紀衣、北谷正雄
庶務担当：端浦雅人、森花子、塚田恵理子

01
ギュスターヴ・クールベ
川辺でまどろむ浴女
1845年
油彩、カンヴァス
81.3×64.8cm
デトロイト美術館蔵

02
カミーユ・ピサロ
小道
1889年
油彩、カンヴァス
72.4×59.7cm
デトロイト美術館蔵

03
エドガー・ドガ
朝の泉馬
1866年頃
油彩、カンヴァス
85.1×64.8cm
デトロイト美術館蔵

04
エドガー・ドガ
バイオリニストと若い女性
1871年頃
油彩、カンヴァス
46.4×55.9cm
デトロイト美術館蔵

05
エドガー・ドガ
包帯を巻いた女性
1872/73年
油彩、カンヴァス
33.0×24.8cm
デトロイト美術館蔵

06
エドガー・ドガ
女性の肖像
1877年
油彩、カンヴァス
64.8×53.3cm
デトロイト美術館蔵

07
エドガー・ドガ
楽屋の踊り子たち
1879年頃
油彩、カンヴァス
41.3×87.6cm
デトロイト美術館蔵

08
クロード・モネ
グラジオラス
1876年頃
油彩、カンヴァス

55.9×82.6cm
デトロイト美術館蔵

09
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
肘掛椅子の女性
1874年
油彩、カンヴァス
61.0×50.5cm
デトロイト美術館蔵

10
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
白い服の道化師
1901/02年
油彩、カンヴァス
79.1×61.9cm
デトロイト美術館蔵

11
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
座る浴女
1903/06年頃
油彩、カンヴァス
116.2×88.9cm
デトロイト美術館蔵

12
カロリュス＝デュラン
喜び楽しむ人々
1870年
油彩、カンヴァス
90.2×139.7cm
デトロイト美術館蔵

13
アンリ・ジェルヴェクス
パリのカフェにて
1877年
油彩、カンヴァス
100.5×136.0cm
デトロイト美術館蔵

14
ポール・セザンヌ
水浴する人々
1888年頃
油彩、カンヴァス
34.6×38.1cm
デトロイト美術館蔵

15
ポール・セザンヌ
画家の夫人
1886年頃
油彩、カンヴァス
101.0×81.3cm
デトロイト美術館蔵

16
ポール・セザンヌ
三つの顔
1900年頃
油彩、カンヴァス
34.9×61.0cm
デトロイト美術館蔵

17
ポール・セザンヌ
サント＝ヴィクトワール山
1904/06年頃
油彩、カンヴァス
55.6×46.0cm
デトロイト美術館蔵

18
ポール・セザンヌ
自画像
1893年頃
油彩、カンヴァス
46.2×38.1cm
デトロイト美術館蔵

19
フィンセント・ヴィレム・ファン・ゴッホ
自画像
1887年
油彩、板に貼り付けられたカンヴァス
34.9×26.7cm
デトロイト美術館蔵

20
フィンセント・ヴィレム・ファン・ゴッホ
オワーズ川の岸辺、オーヴェールにて
1890年
油彩、カンヴァス
73.3×93.7cm
デトロイト美術館蔵

21
オディロン・ルドン
心に浮かぶ蝶
1910/12年頃
油彩、カンヴァス
55.2×41.3cm
デトロイト美術館蔵

22
モーリス・ドニ
トゥールーズ速報
1892年
油彩、カンヴァス
131.5×89.5cm
デトロイト美術館蔵

23
フェリックス・ヴァロットン
膝にガウンをまもって立つ裸婦
1904年
油彩、カンヴァス

130.2×97.2cm
デトロイト美術館蔵

24
ピエール・ボナール
犬と女性
1924年
油彩、カンヴァス
78.7×39.7cm
デトロイト美術館蔵

25
ヴァシリー・カンディンスキー
白いフォルムのある習作
1913年
油彩、カンヴァス
99.7×88.3cm
デトロイト美術館蔵

26
エミール・ノルデ
ヒマワリ
1932年
油彩、カンヴァス
73.7×88.9cm
デトロイト美術館蔵

27
パウラ・モダーゾーン＝ベッカー
年寄いた農婦
1905年頃
油彩、カンヴァス
75.6×57.8cm
デトロイト美術館蔵

28
エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー
月下の冬景色
1919年
油彩、カンヴァス
120.7×120.0cm
デトロイト美術館蔵

29
ヘルマン・マックス・ベヒシュタイン
木陰にて
1911年
油彩、カンヴァス
73.7×99.1cm
デトロイト美術館蔵

30
エーリッヒ・ヘッケル
女性
1920年
油彩、カンヴァス
80.0×70.0cm
デトロイト美術館蔵

- 31**
カール・シュミット＝ロットルフ
雨雲、ガルダ湖
1927年
油彩、カンヴァス
87.6×112.4cm
デトロイト美術館蔵
- 32**
マックス・ベックマン
倒れた蠟燭のある静物
1929年
油彩、カンヴァス
55.9×62.9cm
デトロイト美術館蔵
- 33**
マックス・ベックマン
オリーブ色と茶色の自画像
1945年
油彩、カンヴァス
60.3×49.8cm
デトロイト美術館蔵
- 34**
オスカー・ココシュカ
エルペ川、ドレスデン近郊
1921年頃
油彩、カンヴァス
59.7×80.0cm
デトロイト美術館蔵
- 35**
オスカー・ココシュカ
エルサレムの眺め
1929-30年
油彩、カンヴァス
80.0×128.3cm
デトロイト美術館蔵
- 36**
オットー・ディックス
自画像
1912年
油彩、パネルに貼られた紙
73.7×49.5cm
デトロイト美術館蔵
- 37**
アンリ・マティス
窓
1916年
油彩、カンヴァス
146.1×116.8cm
デトロイト美術館蔵
- 38**
アンリ・マティス
コーヒータム
1916年
油彩、カンヴァス
- 100.6×65.4cm
デトロイト美術館蔵
- 39**
アンリ・マティス
ケシの花
1919年頃
油彩、カンヴァス
100.6×81.3cm
デトロイト美術館蔵
- 40**
ジョルジュ・アンリ・ルオー
進化
1907年頃
油彩、グワッシュ、合板
57.2×50.8cm
デトロイト美術館蔵
- 41**
ラウル・デュフィ
静物
1914年頃
油彩、カンヴァス
45.7×54.6cm
デトロイト美術館蔵
- 42**
パブロ・ピカソ
アルルカンの頭部
1905年
油彩、カンヴァス
40.6×33.0cm
デトロイト美術館蔵
- 43**
パブロ・ピカソ
マヌエル・バラレスの肖像
1909年
油彩、カンヴァス
67.9×49.5cm
デトロイト美術館蔵
- 44**
パブロ・ピカソ
アニス酒の瓶
1915年
油彩、カンヴァス
46.3×55.2cm
デトロイト美術館蔵
- 45**
パブロ・ピカソ
肘掛け椅子の女性
1923年
油彩、カンヴァス
130.2×97.2cm
デトロイト美術館蔵

- 46**
パブロ・ピカソ
読書する女性
1938年
油彩、カンヴァス
69.2×55.2cm
デトロイト美術館蔵

- 47**
パブロ・ピカソ
座る女性
1960年
油彩、カンヴァス
146.1×114.3cm
デトロイト美術館蔵

- 48**
ファン・グリス
静物
1916年
油彩、カンヴァス
80.6×59.7cm
デトロイト美術館蔵

- 49**
アメデオ・モディリアーニ
男の肖像
1916年
油彩、カンヴァス
46.0×38.1cm
デトロイト美術館蔵

- 50**
アメデオ・モディリアーニ
女の肖像
1917-20年
油彩、カンヴァス
60.3×46.4cm
デトロイト美術館蔵

- 51**
アメデオ・モディリアーニ
帽子を被った若い男性
1919年
油彩、カンヴァス
61.0×37.8cm
デトロイト美術館蔵

- 52**
シャイム・スーティン
赤いグラジオラス
1919年頃
油彩、カンヴァス
54.6×45.7cm
デトロイト美術館蔵

ジブリの立体建造物展

2016年7月15日[金]ー9月25日[日]

66日間

展示室 8

スタジオジブリは1985年の創立以来、多くのアニメーション作品を制作してきたが、ドラマの舞台としての「建造物」は常に見る者を惹きつけてきた。その魅力は、どこか懐かしさを感じさせる雰囲気、そして細部まで入念に表現され、さらには見えない部分まで感じさせるリアルさにあると言える。

「となりのトトロ」や「風立ちぬ」に現われる日本の町並みや家屋に郷愁を覚え、「魔女の宅急便」や「ハウルの動く城」では西洋の都市や自然に憧れを感じるだろう。また、「風の谷のナウシカ」や「天空の城ラピュタ」では空想の世界に心を馳せ、「千と千尋の神隠し」の油屋では夢現の混沌の世界に浸ることになる。このように私たちがごく自然に感情移入してしまうスタジオジブリの建造物の魅力は、多くの取材にもとづき、妥協のない緻密さで描かれたスケッチから生まれている。

本展は、建築家の藤森照信氏の監修により、スタジオジブリの「建造物」を現実の建物の模型として展示した。また、映画制作資料の背景画や原画など約450点も合わせて展示し、スタジオジブリの建築へのこだわりを迫った。

観覧料：一般1,400円 [1,200円] / 高校・大学生1,000円 [800円] / 中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料【要証明】

主催：豊田市美術館、中日新聞社、中京テレビ放送

後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、近畿日本鉄道

協賛：トヨタすまいるライフ、ア・ファクトリー

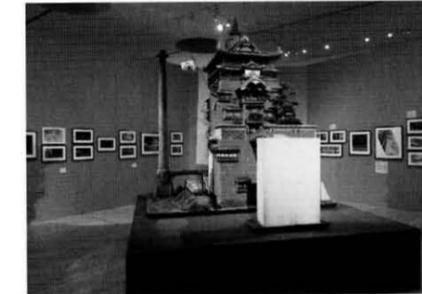
企画制作協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館

出品点数：約460点（模型約10点、背景画等約450点）

観覧者数：294,258人



展示風景 (©Studio Ghibli)



展示風景 (©Studio Ghibli)



展示風景 (©Studio Ghibli)

関連事業：

対談

出演：藤森照信(展覧会監修者)、杉戸洋(美術作家)

コーディネーター：五十嵐太郎(建築批評家)

日時：7月31日[日] 午後2時-3時30分

会場：美術館 講堂

印刷物：

ポスター：B1判、B2判、B3判

チラシ：A4判

会場案内図：A4判

カタログ：28×23cm / 192ページ

作品輸送・展示：日本通運株式会社

会場設営：株式会社カトウスタジオ

学芸担当：北谷正雄

庶務担当：塚田恵理子、端浦雅人、森花子



ポスター (©Studio Ghibli)

- 01**
アルプスの少女ハイジ
1974年
美術設定/複製 21点
アルムの山 ジオラマ模型 1点
スタジオジブリ蔵
- 02**
風の谷のナウシカ
1984年
イメージボード 9点
美術ボード 1点
背景画 1点
スタジオジブリ蔵
- 03**
天空の城ラピュタ
1986年
イメージボード 12点
背景画 8点
スラッグ渓谷 ジオラマ模型 1点
スタジオジブリ蔵
- 04**
となりのトトロ
1988年
イメージボード 3点
ストーリーボード 8点
美術設定 15点
美術ボード 13点
背景画 2点
草壁家 模型 1点
スタジオジブリ蔵
- 05**
魔女の宅急便
1989年
イメージボード 12点
美術設定 17点
背景画 2点
グーチョキパンヤ 模型 1点
スタジオジブリ蔵
- 06**
おもひでぽろぽろ
1991年
美術設定 5点
美術ボード 6点
背景画 4点
スタジオジブリ蔵
- 07**
紅の豚
1992年
イメージボード 6点
背景画 4点
スタジオジブリ蔵
- 08**
平成狸合戦ぽんぽこ
1994年
- イメージボード 14点
美術設定 9点
美術ボード 7点
背景画 4点
スタジオジブリ蔵
- 09**
ON YOUR MARK
1995年
イメージボード 2点
背景画 1点
スタジオジブリ蔵
- 10**
耳をすませば
1995年
イメージボード 1点
背景画 9点
地球屋 セット 1点
スタジオジブリ蔵
- 11**
もののけ姫
1997年
イメージボード 8点
背景画 8点
スタジオジブリ蔵
- 12**
となりの山田くん
1999年
着色ボード 7点
スタジオジブリ蔵
- 13**
千と千尋の神隠し
2001年
イメージボード 7点
背景画 33点
屋台 セット 1点
湯屋 模型 1点
スタジオジブリ蔵
- 14**
虫眼とアニメ
2002年
複製 13点
スタジオジブリ蔵
- 15**
ハウルの動く城
2004年
イメージボード 9点
背景画 19点
ソフィーの帽子屋 セット 1点
スタジオジブリ蔵
- 16**
ゲド戦記
2006年
背景画 4点

ポスター用背景画 1点
スタジオジブリ蔵

17
崖の上のポニョ
2008年
イメージボード 5点
背景画 4点
宗助の家 模型 1点
スタジオジブリ蔵

18
借りぐらしのアリエッティ
2010年
イメージボード 6点
美術ボード 1点
背景画 17点
アリエッティの家 模型 1点
スタジオジブリ蔵

19
コクリコ坂から
2011年
コンセプトスケッチ 4点
イメージボード 4点
背景画 21点
スタジオジブリ蔵

20
かぐや姫の物語
2013年
美術設定 2点
背景画 13点
スタジオジブリ蔵

21
風立ちぬ
2013年
イメージボード 2点
背景画 30点
スタジオジブリ蔵

22
思い出のマーニー
2014年
イメージボード 8点
美術設定 10点
美術ボード 2点
背景画 20点
大岩家 模型 1点
スタジオジブリ蔵

23
三鷹の森ジブリ美術館 ジオラマ模型 1点
スタジオジブリ蔵

24
住居壁断面模型 1点
スタジオジブリ蔵

25
大工道具一式 68点
竹中大工道具館蔵

杉戸洋—こっばとあまつぶ

2016年7月15日 [金]—9月25日 [日]

66日間

展示室 1-4

杉戸洋(1970年名古屋生まれ)は、90年代半ばのデビュー以後、抽象と具象、物語と絵画の間の繊細なやりとりを通して、独自の絵画スタイルを構築してきた。淡いパステル色で描かれる、家や車、木、星空などの子どもが好んで描きそうな柔らかなものに、水平線や三角形、矩形などの幾何学が重なり、多層的な構図が現れる。そして大小様々な絵画の色と形態が呼応し合い、平面をはみ出して、その場を軽やかな空気感が満たす。ここでは、雨粒のような小さな粒子が、色となり形となって空間に拡散するのを、身体全体で感じることができる。絵本で出会うような詩情と建築的な幾何学が融合したその絵画は、観る人の想像力を微細なものから宇宙的な広がりへと、自由に往還させる。本展では、スパイダース[青木淳(1956年生まれ)、大石雅之(1979年生まれ)]、スタジオ・ヴェロシティ(2006年設立)ら建築家とのコラボレーションによる構築物を登場させ、特徴的な美術館の空間にユーモラスな揺らぎをもたらした。

観覧料:一般1,000円[800円] / 高校・大学生800円[600円] / 中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料[要証明]

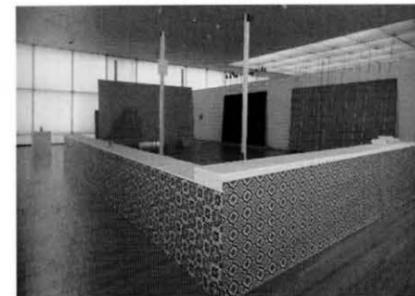
主催:豊田市美術館、中日新聞社、中京テレビ放送

協力:ケンジタキギャラリー、小山登美夫ギャラリー

特別連携:あいちトリエンナーレ実行委員会

出品点数:約83点

観覧者数:33,554人



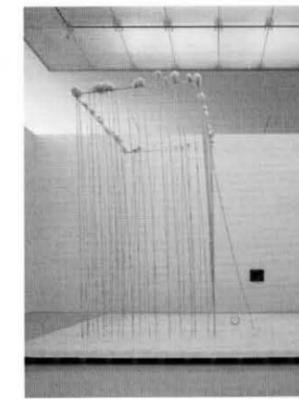
展示風景



展示風景



ポスター



展示風景

関連事業:

対談

講師:スタジオ・ヴェロシティ(建築家)、
杉戸洋(美術作家)

日時:7月16日[土] 午後2時-3時30分

会場:美術館 講堂

対談

講師:青木淳(建築家)、杉戸洋(美術作家)

日時:9月25日[日] 午後2時-3時30分

会場:美術館 講堂

作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー

木曜日を除く毎日午後2時-(土、日、祝日は午前11時-

時-、午後2時-/関連事業開催日は午前11時-

印刷物:

ポスター: B1判、B2判、B3判

チラシ: A4判

ギャラリーガイド: A3判二つ折り

カタログ: 23.4×18.8cm / 150ページ

*カタログはtorch pressが製作

グラフィックデザイン: da.

作品展示: ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営: ミラクルファクトリー

学芸担当: 能勢陽子、千葉真智子

庶務担当: 塚田恵理子、森花子、端浦雅人

- 01**
杉戸 洋
the bowler
2006年
リトグラフ、モノタイプ
24.0×40.0cm
作家蔵
- 02**
杉戸 洋
cucuru cucuuu
2005年
油彩、カンヴァス
40.0×51.0cm
作家蔵
- 03**
杉戸 洋
this magic moment
2007年
油彩、カンヴァス
248.0×358.0cm
作家蔵
- 04**
杉戸 洋
rein
2016年
油彩、カンヴァス
30.0×40.0cm
作家蔵
- 05**
杉戸 洋
Claudia
2003年
アクリル、カンヴァス
105.0×125.0cm
作家蔵
- 06**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
31.0×58.0cm
作家蔵
- 07**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、木炭、カンヴァス
44.0×52.0cm
作家蔵
- 08**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、鉛筆、カンヴァス
- 23.0×32.0cm
作家蔵
- 09**
杉戸 洋
untitled
2010年
アクリル、カンヴァス
183.0×294.0cm
作家蔵
- 10**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
30.0×39.0cm
作家蔵
- 11**
杉戸 洋
untitled
2014年
油彩、カンヴァス
43.0×52.0cm
作家蔵
- 12**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
51.0×44.0cm
作家蔵
- 13**
杉戸 洋
untitled
2015年
マーカー、紙
27.0×21.5cm
作家蔵
- 14**
杉戸 洋
めがね橋
2013年
鉛筆、カンヴァス
31.0×40.0cm
作家蔵
- 15**
杉戸 洋
無題
2014年
木炭、キャンバス
33.0×45.0cm
個人蔵

- 16**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、マーカー、発泡スチロール
34.0×56.5cm
作家蔵
- 17**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
24.0×41.0cm
作家蔵
- 18**
杉戸 洋
untitled
2015年
ペン、水彩、紙
43.0×27.0cm
作家蔵
- 19**
杉戸 洋
untitled
2016年
水彩、紙
37.0×25.0cm
作家蔵
- 20**
杉戸 洋
untitled
2007年
アクリル、顔料、板
51.0×65.0cm
作家蔵
- 21**
杉戸 洋
untitled
2016年
水彩、紙
27.0×34.5cm
作家蔵
- 22**
杉戸 洋
untitled
2015年
鉛筆、ペン、紙
31.0×23.5cm
作家蔵
- 23**
杉戸 洋
untitled
2014年
色鉛筆、紙
- 15.0×20.5cm
作家蔵
- 24**
杉戸 洋
untitled
2014年
色鉛筆、紙
15.0×20.5cm
作家蔵
- 25**
杉戸 洋
untitled
2016年
鉛筆、水彩、紙
22.0×29.0cm
作家蔵
- 26**
杉戸 洋
untitled
2016年
鉛筆、水彩、紙
22.0×29.0cm
作家蔵
- 27**
杉戸 洋
untitled
2016年
鉛筆、水彩、紙
22.0×29.0cm
作家蔵
- 28**
杉戸 洋
untitled
2013年
油彩、鉛筆、カンヴァス
30.0×40.0cm
作家蔵
- 29**
杉戸 洋
particles and release
2015年
油彩、アクリル、グリッター、カンヴァス
53.0×45.5cm
作家蔵
- 30**
杉戸 洋
the rain
2007年
アクリル、カンヴァス
170.0×350.0cm
作家蔵

- 31**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
37.0×44.5cm
作家蔵
- 32**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
37.0×44.5cm
作家蔵
- 33**
杉戸 洋
無題
2005年
油彩、カンヴァス
60.6×72.7cm
作家蔵
- 34**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
42.0×53.0cm
作家蔵
- 35**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
36.5×44.0cm
作家蔵
- 36**
杉戸 洋
untitled
2011年
アクリル、油彩、カンヴァス
38.0×44.5cm
個人蔵
- 37**
杉戸 洋
house on the hill
2012年
アクリル、キャンバス
131.0×192.0cm
個人蔵
- 38**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
- 24.0×33.5cm
作家蔵
- 39**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
23.0×32.0cm
作家蔵
- 40**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
21.0×26.5cm
作家蔵
- 41**
杉戸 洋
untitled
2007年
アクリル、カンヴァス
263.0×365.0cm
作家蔵
- 42**
杉戸 洋
untitled
1996年
紙、アクリル、カンヴァス
46.0×38.0cm
作家蔵
- 43**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
54.0×65.0cm
作家蔵
- 44**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
23.0×32.0cm
作家蔵
- 45**
杉戸 洋
untitled
2014年
油彩、カンヴァス
65.0×48.0cm
作家蔵

- 46**
杉戸 洋
untitled
2015年
油彩、カンヴァス
37.0×50.0cm
作家蔵
- 47**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
38.0×48.0cm
作家蔵
- 48**
杉戸 洋
untitled
2014年
油彩、カンヴァス
32.0×41.0cm
作家蔵
- 49**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
32.0×41.0cm
作家蔵
- 50**
杉戸 洋
untitled
2014年
木炭、キャンバス
59.0×73.0cm
個人蔵
- 51**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、黒鉛、カンヴァス
22.0×31.5cm
作家蔵
- 52**
杉戸 洋
無題
2012年
アクリル、木炭、キャンバス
60.5×72.6cm
個人蔵
- 53**
杉戸 洋
untitled
2007年
アクリル、カンヴァス
- 245.0×347.0cm
作家蔵
- 54**
杉戸 洋
green mountain
2006年
アクリル、ウレタン、紙、ラメ、木
63.0×41.0cm
個人蔵
- 55**
杉戸 洋
untitled
2013年
油彩、カンヴァス
30.0×40.0cm
作家蔵
- 56**
杉戸 洋
untitled
2013年
油彩、カンヴァス
50.0×60.0cm
個人蔵
- 57**
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
44.0×52.0cm
作家蔵
- 58**
杉戸 洋
untitled
2015年
色鉛筆、紙
20.0×28.5cm
作家蔵
- 59**
青木淳建築計画事務所
ぼよんどカン構造解析データ
2016年
映像
- 60**
スバイダース
red and the blue line
2013年
油彩、カンヴァス
31.0×40.5cm
作家蔵
- 61**
スバイダース
catch and release
2016年

油彩、鉛筆、カンヴァス
30.0×39.0cm
作家蔵

62
杉戸 洋
untitled
2016年
ミクストメディア
60.0×46.0cm
作家蔵

63
杉戸 洋
draft
2016年
ミクストメディア
サイズ可変
作家蔵

64
杉戸 洋
tree with hills
2008年
アクリル、木
32.5×38.5×6.5cm
個人蔵

65
スパイダース
じょうぎ
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

66
杉戸 洋
first lightning
2008年
アクリル、グリッター、木
84.0×36.0×9.0cm
個人蔵

67
杉戸 洋
greased lighting
2008年
アクリル、木
69.5×99.0cm
個人蔵

68
大石雅之建築設計事務所
ぼよん窓スタディ
2016年
76.5×78.0cm

69
スパイダース
ぼよん小屋構造解析データ
2016年

映像

70
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
36.0×43.5cm
作家蔵

71
杉戸 洋
untitled
2016年
油彩、カンヴァス
30.5×41.0cm
作家蔵

72
杉戸 洋
せんたく
2016年
アクリル、カンヴァス、鉄
サイズ可変

73
スパイダース
ぼよん小屋(こっぼとあまつぶiver.)
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

74
杉戸 洋
げた
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

75
杉戸 洋
untitled
2013年
木炭、油彩、カンヴァス
32.0×44.0cm
作家蔵

76
杉戸 洋
four leaves
2008年
鉄
77.2×81.0cm
個人蔵

77
杉戸 洋
untitled
2012年
油彩、カンヴァス
30.0×34.5cm

作家蔵

78
スパイダース
モップ
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

79
スタジオ・ヴェロシティ
あまつぶ
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

80
スタジオ・ヴェロシティ
垂直な水面
2016年
ミクストメディア
サイズ可変

81
杉戸 洋
cloud for a sunny day
2001年
アクリル、ハニカムボード
12.0×20.0×3.0cm
個人蔵

82
杉戸 洋
untitled
2014年
油彩、鉛筆、カンヴァス
23.5×32.0cm
個人蔵

蜘蛛の糸:クモがつむぐ美の系譜 —江戸から現代へ

2016年10月15日[土]—12月25日[日]
62日間
展示室 1-4、8

蜘蛛(クモ)は実にミステリアスな生き物である。その見た目の不気味さから、蜘蛛をきらう人は少なくない。しかし、蜘蛛が編み出す繊細で美しい糸の軌跡は、時に人を釘付けにする。こうした蜘蛛のもつ怪しい魅力と象徴性、「蜘蛛の糸」の謎や神秘は、古くから芸術家たちを魅了してきた。

そもそも蜘蛛は4億年もの進化の歴史を持つといわれている。連綿として続く生存競争のなかで、蜘蛛は厳しい自然環境に耐え、生き延びるために、命綱としての糸に特別な性質を与えてきた。今やそれは最新の高分子化学をはじめ、さまざまな研究分野の可能性をひらくものとして注目されている。自らの内から紡ぎだされ、空間を編成し、ターゲットをとらえて離さない蜘蛛の糸の謎。蜘蛛が繰り出すこの魔法の糸は、まさにアーティストが創り出す芸術活動のメタファーのようである。

本展では、蜘蛛や蜘蛛の糸を注意深く観察して描写した作品をはじめ、蜘蛛の糸のイメージや要素を比喩的に用いた作品、作家自らが紡ぎ出した線の反復と集積によって生まれた作品、そして新種の蜘蛛のような能力を持って、先行き不透明な時代に新たな可能性を探るプロジェクトまで、近世から現代までの多様な分野にわたる作家の表現を、「蜘蛛の糸」というテーマのもとに紡いだ6つの視点から紹介する構成とした。

観覧料:一般1,000円[800円]/高校・大学生800円[600円]/中学生以下無料

[]内は20名以上の団体料金/中学生以下無料

*市内在住又は在学の高校生、障がい者、市内75才以上は無料[要証明]

主催:豊田市美術館、朝日新聞社

協力:Spiber株式会社、株式会社ゴールドウイン

出品点数:158点(83作家)

観覧者数:15,189人



展示風景



展示風景

関連事業:

■記念講演会①「クモの賢さと美しさ」

講師:奥本大三郎(フランス文学者、埼玉大学名誉教授、NPO日本アンリ・ファーブル会理事長、ファーブル昆虫館館長)

日時:10月29日[土] 午後2時-3時30分
会場:美術館 講堂

■記念講演会②「小袖にみるクモの巣文様」

講師:藤井享子(東海大学、群馬女子大学非常勤講師)

日時:12月17日[土] 午後2時-3時30分
会場:ワークショップルーム

■映画上映会

『くもとちゅうりっぷ』(監督:政岡憲三、1943年、16分、白黒アニメーション/協力:松竹株式会社)

『蜘蛛の糸』(監督:大藤信郎、1946年、11分、白黒影絵アニメーション/協力:東京国立近代美術館フィルムセンター)

日時:11月12日[土]、12月10日[土] 午後2時30分-

会場:ワークショップルーム

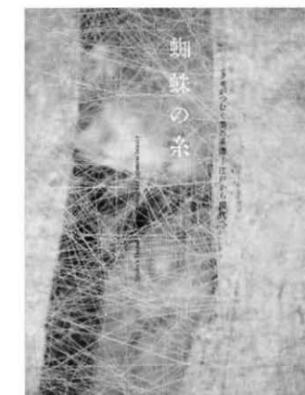
■学芸員によるギャラリートーク

11月5日[土]、11月26日[土]、12月23日[金・祝]
午後2時-

■作品ガイドボランティアによるギャラリートーク
木曜日を除く毎日午後2時-(土・日・祝日は午前11時-、午後2時-/関連事業開催日は午前11時-)



ポスター



カタログ

印刷物:

ポスター: B1変形、B2判、B3判

チラシ: A4判

出品作品一覧: A4判/8ページ

図録: B5判/256ページ

グラフィックデザイン: 近藤一弥

作品輸送・展示: ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営: 株式会社カトウスタディオ

学芸担当: 都筑正敏、成瀬美幸

庶務担当: 森花子、塚田恵理子

- 001**
塩田 千春
夢のあと
2016年
糸、ドレス
インスタレーションサイズ
作家蔵
- 002**
洲浜秋双鳥鏡
鎌倉時代(12世紀後半-13世紀前半)
Φ9.0cm
愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 003**
荷葉蜘蛛銅製根付
江戸時代(18世紀)
4.7cm
東京国立博物館蔵
- 004**
荷葉蜘蛛銅製根付
江戸時代(18世紀)
4.9cm
東京国立博物館蔵
- 005**
荷葉蜘蛛銅製根付
江戸時代(18世紀)
4.5cm
東京国立博物館蔵
- 006**
牙蜘蛛牙彫根付
江戸時代(18世紀)
6.5cm
東京国立博物館蔵
- 007**
鍋島
色絵蜘蛛之巣梅花散らし文八角皿
江戸中期
各4.8cm、Φ14.3cm(5枚組)
栗田美術館蔵
- 008**
蜘蛛巣透鏡
江戸末期
7.7×7.6cm
清水三年坂美術館蔵
- 009**
蜘蛛に蛾図小柄
江戸末期
長さ9.7cm
清水三年坂美術館蔵
- 010**
岩波に蜘蛛図縁
江戸末期
3.8cm
- 清水三年坂美術館蔵
- 011**
鏡蓋根付蜘蛛の巣に蠅文鏡
江戸末期-明治初期(19世紀)
Φ4.7cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 012**
蜻蛉蜘蛛巣図蒔絵太鼓胴
江戸時代(17世紀)
27.0cm、Φ11.3cm
愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 013**
横に蜘蛛巣蒔絵螺鈿手箱
江戸時代(17-18世紀)
19.2×27.1×16.4cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 014**
古満 休伯
秋草に蜘蛛巣蒔絵印籠
江戸時代
8.9×6.0×2.2cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 015**
水谷 豊文
虫譜
江戸後期(転写:1904年)
26.5×19.0cm
西尾市岩瀬文庫蔵
- 016**
飯室 昌樹
虫譜図説
1856年(転写:19世紀末)
26.5×19.0cm
西尾市岩瀬文庫蔵
- 017**
高木 春山
本草図説
江戸末期(19世紀)
26.0×18.9cm
西尾市岩瀬文庫蔵
- 018**
山本 章夫
虫品
江戸末期-明治初期(19世紀)
27.2×19.6cm
西尾市岩瀬文庫蔵
- 019**
西沢 笛畝
虫類百姿
1926年
25.1×18.8cm
西尾市岩瀬文庫蔵

- 020**
原田 直次郎
『めさまし草』 巻之一
1896年
22.0×14.9cm
文京区立森鷗外記念館蔵
- 021**
原田 直次郎
『めさまし草』 巻之五
1896年
22.0×14.9cm
文京区立森鷗外記念館蔵
- 022**
原田 直次郎
『めさまし草』 巻之八
1896年
22.0×14.9cm
文京区立森鷗外記念館蔵
- 023**
扇形秋草蒔絵香箱
明治時代
10.0×16.0×4.5cm
清水三年坂美術館蔵
- 024**
秋草蜘蛛蒔絵硯箱
明治初期(19世紀)
15.8×14.6×2.7cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 025**
蜘蛛の巣蒔絵煙草入れ形印籠
明治時代
6.8×8.5cm
清水三年坂美術館蔵
- 026**
野原 貞明
腰差煙草入 蜘蛛に蛙図煙管筒
明治時代
煙草入7.5×13.0×2.3cm、煙管筒長さ21.5cm
清水三年坂美術館蔵
- 027**
蜘蛛に手長猿図煙管筒
明治時代
長さ21.7cm
清水三年坂美術館蔵
- 028**
柴田 是真
落葉に蜘蛛蒔絵箱
明治時代
5.0×15.5×10.1cm
清水三年坂美術館蔵
- 029**
旭 玉山
巻に蜘蛛の巣図文庫
明治時代
37.5×28.0×12.0cm
清水三年坂美術館蔵
- 030**
正阿弥 勝義
古瓦鳩香炉
明治時代
15.0cm
清水三年坂美術館蔵
- 031**
満田 晴穂
自在大女郎蜘蛛
2016年
真鍮、銅
インスタレーションサイズ
作家蔵
- 032**
柴田 是真
蜘蛛の巣図
明治時代
紙本着色
83.4×54.9cm
板橋区立美術館蔵
- 033**
小茂田 青樹
杜公
1930年頃
紙本着色
43.0×73.5cm
川崎市立美術館蔵
- 034**
小茂田 青樹
虫魚画卷
1931年
紙本着色
50.5×981.8cm
東京国立近代美術館蔵
- 035**
速水 御舟
昆虫二題 葉蔭魔手(下図)
1926年
紙本着色
94.3×115.2cm
神奈川県立近代美術館蔵
- 036**
速水 御舟
昆虫二題 粧蛾舞戯(下図)
1926年
紙本着色
94.0×114.3cm
神奈川県立近代美術館蔵

- 037**
熊谷 守一
地蜘蛛
1963年
油彩、板
24.2×33.2cm
メナード美術館蔵
- 038**
中谷 美二子
風に乗って一本の線を引こう
1973年
ビデオインスタレーション
作家蔵
- 039**
新宮 晋
くも
1979年
絵本
- 040**
蜘蛛の巣に馬蒔絵伽羅箱
江戸時代(17-18世紀)
10.8×10.8×5.7cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 041**
土蜘蛛浮彫煙管筒
江戸末期-明治初期(19世紀)
20.5×3.4cm
大阪市立美術館蔵(カザールコレクション)
- 042**
月岡 芳年
『新形三十六怪撰』より「源頼光土蜘蛛ヲ切ル図」
1892年
多色木版
35.3×25.7cm
高山市郷土博物館蔵
- 043**
今村 紫紅
土蜘蛛草紙(模写)
1898-99年
紙本着色
33.0×1000.5cm
横浜美術館蔵
- 044**
西川 祐信
衣通姫之図
1716-36年
紙本着色
90.0×38.0cm
個人蔵
- 045**
山本 芳翠
深婦
1880年頃
油彩、カンヴァス
83.0×134.7cm
岐阜県美術館蔵
- 046**
三代 歌川 豊国
白縫譚
1861-64年
多色木版
35.7×73.5cm
個人蔵
- 047**
三代 歌川 豊国
四代中村芝翫の秋作/三代澤村田之助の若菜姫
1861-64年
多色木版
各35.4×23.9cm
個人蔵
- 048**
英 一蝶
王子齋図
江戸時代(18世紀前半)
絹本着色
100.9×43.9cm
愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 049**
曾我 蕭白
寒山拾得図
江戸中期(18世紀後半)
紙本着色
124.5×54.5cm
愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)
- 050**
松岡 緑堂
百鬼夜行之図
江戸末期-明治初期(19世紀後半)
紙本着色
30.4×919.0cm
西尾市岩瀬文庫蔵
- 051**
正徳ひな形 全
1713年(1971年複製 ぱくおう社)
豊田市中央図書館蔵
- 052**
御ひいなかた
1667年(1974年複製 学習研究社)
西尾市立図書館蔵
- 053**
新板 小袖御ひいなかた
1677年(1974年複製 学習研究社)
西尾市立図書館蔵
- 054**
諸国御ひいなかた
1686年(1974年複製 学習研究社)
西尾市立図書館蔵
- 055**
森 玉傳
衛立に倚る遊女図
江戸時代(19世紀)
紙本着色
100.8×29.9cm
東京国立博物館蔵
- 056**
半襟 黒紗地蜘蛛巣に楓葉模様繻(平銀けし繻)
1920年頃
15.0×102.0cm
東京国立博物館蔵
- 057**
菊に蜘蛛の巣模様羽織
大正時代
99.0×124.0cm
池田重子コレクション蔵
- 058**
ヤツデに蜘蛛の巣模様羽織
昭和初期
128.0×101.0cm
池田重子コレクション蔵
- 059**
上村 松園
焰(下絵)
1918年
墨、朱、紙
181.0×93.5cm
松伯美術館蔵
- 060**
上村 松園
蜘蛛の巣(素描)
制作年不詳
墨、紙
19.8×27.8cm
個人蔵
- 061**
上村 松園
蜘蛛の巣(素描)
制作年不詳
墨、紙
28.3×39.4cm
個人蔵
- 062**
橋 小夢
刺青
1923年
木版、紙

- 30.0×18.0cm
個人蔵
- 063**
森村 泰昌
セルフポートレート(女優)ノワカオ・アヤコとしての私
1996年
カラー写真
120.0×95.0cm
作家蔵
- 064**
月岡 芳年
奥州安達がはらひとつ家の図
1885年
多色木版
71.5×24.4cm
宮原夢画氏蔵
- 065**
荒木 経惟
緊縛シリーズより
1997年
カラー写真
46.5×58.5cm
作家蔵
- 066**
荒木 経惟
緊縛シリーズより
1997年
カラー写真
77.0×61.0cm
作家蔵
- 067**
荒木 経惟
緊縛シリーズより
1997年
カラー写真
58.5×46.5cm
作家蔵
- 068**
小柳 裕
The Last One(Source of Light 13-4)
2013年
油彩、カンヴァス
142.0×130.0cm
作家蔵
- 069**
小柳 裕
A Method/Source of Light 16-5
2016年
油彩、カンヴァス
140.0×180.0cm
作家蔵

070

山口 薫
孤独者のすまい
1955年
油彩、カンヴァス
130.3×162.3cm
群馬県立近代美術館蔵

071

福沢 一郎
蜘蛛になったアラニーエ
1970年
アクリル、カンヴァス
227.3×181.8cm
群馬県立近代美術館蔵

072

森村 泰昌
なにかの光へのレクイエム (光と地の間を紡ぐ人 / 1946年インド)
2010年
ゼラチンシルバープリント
120.0×150.0cm
東京都写真美術館蔵

073

工藤 哲巳
無限の糸の中のマルセル・デュシャン。
プログラムされた未来と記録された記憶の間での瞑想
1977年
合成樹脂、糸、ワックスなど
31.6×45.4×22.9cm
愛知県美術館蔵

074

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #1 大阪 1982
1982年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

075

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #2 福岡 1982
1982年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

076

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #3 岩手 1982
1982年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

077

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #6 千葉 1983
1983年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

078

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #7 千葉 1983
1983年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

079

猪瀬 光
ドグラ・マグラ #10 大阪 1983
1983年
ゼラチンシルバープリント
40.6×50.8cm
AKIO NAGASAWA Gallery蔵

080

赤い鳥
1918年 (1986年復刻版 ほるぷ出版)

081

政岡 憲三
くもとちゅうりっぷ
1943年
白黒アニメーション(16分)
松竹株式会社蔵

082

大藤 信郎
蜘蛛の糸
1946年
白黒影絵アニメーション(11分)
東京国立近代美術館フィルムセンター蔵

083

鴨居 玲
蜘蛛の糸(芥川龍之介より)
1971年
油彩、カンヴァス
91.0×65.0cm
ウッドワン美術館蔵

084

鴨居 玲
蜘蛛の糸
1982年
油彩、カンヴァス
193.0×130.0cm
石川県立美術館蔵

085

鴨居 玲
蜘蛛の糸

1982年
油彩、カンヴァス
97.0×130.0cm
石川県立美術館蔵

086

藪内 佐斗司
蜘蛛のいと
1997年
ブロンズ、ステンレス
高さ268.5cm
個人蔵

087

ムットーニ
蜘蛛の糸
2016年
ミクストメディア
180.0×50.0×55.0cm
作家蔵

088

奏 テルヲ
佛化開縁之図
1937年
絹本着色
49.2×86.9cm
星野画廊蔵

089

イクムラレイコ
Double Spiders
1999年
水彩、鉛筆、紙
49.0×64.0cm
作家蔵

090

イクムラレイコ
untitled
1999年
木炭、バステル、紙
52.5×42.5cm
作家蔵

091

イクムラレイコ
Untitled
1999年
木炭、バステル、紙
52.5×42.5cm
作家蔵

092

イクムラレイコ
Untitled
1999年
バステル、紙
52.5×42.5cm
作家蔵

093

イクムラレイコ
Untitled
1999年
バステル、紙
63.0×48.3cm
作家蔵

094

イクムラレイコ
Untitled
1999年
バステル、紙
63.0×48.3cm
作家蔵

095

イクムラレイコ
Flying Spider
2016年
モノタイプ、カンヴァス
67.0×50.0cm
作家蔵

096

イクムラレイコ
Flying Spider
2016年
モノタイプ、カンヴァス
64.0×46.0cm
作家蔵

097

イクムラレイコ
Flying Spider
2016年
モノタイプ、カンヴァス
61.5×41.0cm
作家蔵

098

イクムラレイコ
Flying Spider
2016年
モノタイプ、カンヴァス
59.5×42.0cm
作家蔵

099

小林 正人
天窓
1987年
油彩、カンヴァス
163.0×131.0cm
個人蔵

100

小林 正人
作品一夢
1991年
油彩、カンヴァス

230.0×185.0cm
個人蔵

101

小泉 明郎
悲劇の誕生(インスタレーション・ヴァージョン)
2013-16年
シングル・スクリーン・ビデオ(17分30秒)、本
インスタレーションサイズ
作家蔵

102

小泉 明郎
インド人よ来れ/これは茶番だ
2012年
ビデオ・インスタレーション(25分30秒)
作家蔵

103

戸谷 成雄
雷神-09
2009年
木、灰、アクリル
高さ930.0cm
作家蔵

104

青木 千絵
BODY 08-2-昇華-
2008年
漆、麻布、スタイロフォーム
335.0×55.0×60.0cm
作家蔵

105

草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm
豊田市美術館蔵

106

田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm
豊田市美術館蔵

107

田中 敦子
Round on Sand
1968年
16ミリカラー (DVDに変換、10分30秒)
撮影・編集: 福澤博
福澤博氏蔵

108

田中 敦子
'94B
1994年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
300.0×510.0cm
豊田市美術館蔵

109

塩田 千春
State of Being (Children's Dress)
2015年
鉄枠、糸、ドレス
130.0×90.0×50.0cm
個人蔵

110

塩田 千春
State of Being (Dress)
2015年
鉄枠、糸、ドレス
130.0×90.0×50.0cm
個人蔵

111

手塚 愛子
縦糸を引き抜く 新しい量として
2003年
引き抜いた縦糸、織物、パネル
布150.0×400.0cm、構内パネル1275×81.0cm
豊田市美術館蔵

112

浅野 弥衛
作品 No.5
1956年
油彩、カンヴァス
61.0×73.0cm
豊田市美術館蔵

113

浅野 弥衛
作品
1965年頃
油彩、カンヴァス
72.5×90.7cm
個人蔵

114

浅野 弥衛
無題
1967年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm
個人蔵

115

浅野 弥衛
無題
1970年
油彩、カンヴァス

60.6×90.9cm
個人蔵

116

浅野 弥衛
無題
1975年
油彩、カンヴァス
97.0×145.5cm
個人蔵

117

浅野 弥衛
無題
1977年
油彩、カンヴァス
72.7×90.9cm
個人蔵

118

浅野 弥衛
無題
1987年
油彩、カンヴァス
65.5×91.0cm
豊田市美術館蔵

119

浅野 弥衛
無題
1990年
油彩、カンヴァス
72.7×116.3cm
豊田市美術館蔵

120

狗巻 賢二
作品 92-1
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm
豊田市美術館蔵

121

狗巻 賢二
作品 92-3
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm
豊田市美術館蔵

122

狗巻 賢二
作品 92-4
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm
豊田市美術館蔵

123

狗巻 賢二
作品 92-5
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm
豊田市美術館蔵

124

狗巻 賢二
作品 92-6
1992年
油彩、カンヴァス
60.5×43.0cm
豊田市美術館蔵

125

狗巻 賢二
作品 92-7
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm
豊田市美術館蔵

126

狗巻 賢二
作品 92-9
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm
豊田市美術館蔵

127

狗巻 賢二
作品 92-10
1992年
油彩、カンヴァス
58.0×42.0cm
豊田市美術館蔵

128

狗巻 賢二
作品 92-15
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm
豊田市美術館蔵

129

狗巻 賢二
作品 92-16
1992年
油彩、カンヴァス
56.5×41.5cm
豊田市美術館蔵

130

小川 信治
アントワーブ・ジュネーブ 2
2016年
鉛筆、紙

110.0×150.0cm
作家蔵

131
小川 信治
レオン大聖堂
2016年
鉛筆、紙
110.0×150.0cm
作家蔵

132
さかぎしよしお
9201
1992年
石膏、ボンド
10.4×22.5×25.6cm
豊田市美術館蔵

133
さかぎしよしお
3021
2003年
セラミック
12.5×7.1×3.4cm
豊田市美術館蔵

134
さかぎしよしお
4018
2004年
セラミック
12.7×12.5×4.0cm
豊田市美術館蔵

135
さかぎしよしお
5005
2005年
セラミック
4.7×8.1×4.7cm
豊田市美術館蔵

136
さかぎしよしお
5014
2005年
セラミック
14.3×15.1×7.0cm
豊田市美術館蔵

137
さかぎしよしお
7029
2007年
セラミック
8.7×8.7×6.5cm
豊田市美術館蔵

138
さかぎしよしお
8012
2008年
セラミック
7.3×7.5×7.7cm
豊田市美術館蔵

139
額田 宣彦
ジャングル・ジム (97-26)
1997-98年
油彩、カンヴァス
194.0×194.0cm
豊田市美術館蔵

140
額田 宣彦
ジャングル・ジム (99-3)
1999年
油彩、カンヴァス
116.7×116.7cm
豊田市美術館蔵

141
額田 宣彦
ジャングル・ジム (01-1)
2001年
油彩、MDFパネル
240.0×240.0cm
豊田市美術館蔵

142
法貴 信也
無題
2008年
墨液、紙
190.0×133.0cm
豊田市美術館蔵

143
法貴 信也
無題
2008年
墨液、紙
190.0×133.0cm
豊田市美術館蔵

144
秋山 陽
Heterophony 4
2009年
陶
102.0×99.0×96.0cm
個人蔵

145
秋山 陽
交信
2013年
蜘蛛の巣、鉄粉、紙

インスタレーションサイズ
作家蔵

146
青木 野枝
Untitled
1984年
鉄
180.0×120.0×80.0cm
豊田市美術館蔵

147
岡本 柳南
蜘蛛
1922年
紙本墨画淡彩
127.0×20.0cm
愛知県美術館蔵(木村定三コレクション)

148
Spiber×THE NORTH FACE
MOON PARKA Installation
2016年
MOON PARKA Prototype、ビデオ
インスタレーションサイズ

149
加藤 翼
凹凸01 (Concave-Convex 01)
2007年
ビデオ(2分8秒)
作家蔵

150
加藤 翼
The Lighthouses - 11.3 PROJECT
2011年
ビデオ(3分59秒)
作家蔵

151
加藤 翼
Abandon (Salton Sea)
2013年
ビデオ(2分58秒)
作家蔵

152
加藤 翼
Listen to the Same Wall
2015年
ビデオ(10分8秒)
作家蔵

153
加藤 翼
Pass Between Magnetic Tea Party
2015年
ビデオ(6分2秒)
作家蔵

154
加藤 翼
Can You Hear Me?
2015年
ビデオ(3分22秒)
作家蔵

155
ミヤギフトシ
東京タワー
2016年
シングル・チャンネル・ビデオ
28分12秒
作家蔵

156
ミヤギフトシ
1970
2016年
毛糸、ピン
サイズ可変
作家蔵

157
ミヤギフトシ
蜘蛛の飛ぶところ
2009年
木製フォトフレーム、ガラス、ラムダプリント
31.5×22.5×30.0cm
作家蔵

158
ミヤギフトシ
気狂い屋敷で:鳥の家でゾーイー (他の物語)を読む
2016年
シングル・チャンネル・ビデオ(14分42秒)
作家蔵

収集作品一覧

2016年度末 総点数
国内作家 2860点
国外作家 620点
合計 3480点

2016年度 購入作品
国内作家 10点
国外作家 1点

2016年度 寄贈作品
国内作家 39点
国外作家 0点

購入作品 | 国内作家 | 美術



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
「きみにはわからないわね。こどもだもの」こどもはもじもじしながら、しばらく顔をうごかしていただけれど、ふいに視界からこどもの姿が消えて、ちらりとお尻が水面をよこぎり、もう次の瞬間、水中には白っぽい影があつて底に向かって沈んでいった。澄んだ水面に、ひとつぶ雨が落ちたように、幾重にも同心円がひろがっていく。今気づいたのだが、奇妙なことは何ひとつなかった。たぶん真夜中でも眠は見えるのだから。昼と夜は分ちがたく繋がっていたのだし、涙でガラスが曇ってしまっても眼鏡に曇はないのだから。「涙でぜんぜん見えないうや。だから手を伸ばし、なるべく近くの物を掴んでみるよ」
1997年
アクリル、カンヴァス
各180.0×130.0×5.0cm (2枚組)



城戸 保
KIDO Tamotsu
黄葉する風景

2014年
Cプリント
119.0×150.0cm



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
「あなたなら聞こえるでしょう。おばさん」婦人はもの思いにふけるかのようにおし黙っていたけれど、ついに彼女は壁に向かって大きなあくびをしてしまう。その口を瞬く間に彼女自身の手が蓋をする。壁には月光をあびた窓の形がくっきりと浮きでている。葉を落とす木々の裸の枝組みががすかに揺れながら、その上に影を落とす。遠くで電話が鳴り、壁一枚隔てた隣室から誰かの声が聞こえた。同時に同じ場所のふたつの相反する悩みに心が奪われているだろう。自分の顔が見えたなら、すべては理解できるはずなのに。「自分の名前まで忘れちゃった。でも、この部屋に誰が住んでいるのかは知ってるわ」



城戸 保
KIDO Tamotsu
内と外の風景

2014年
Cプリント
119.0×150.0cm



岡崎 乾二郎
OKAZAKI Kenjiro
サウモクのくさきに クワヒとらつくしみ、かうむらしむ

2000年
セラミック
19.0×45.0×36.0cm



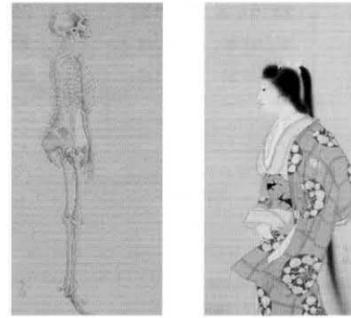
城戸 保
KIDO Tamotsu
R&B

2015年
Cプリント
119.0×150.0cm



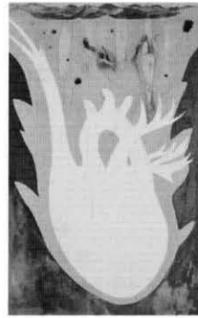
小泉 明郎
KOIZUMI Meiro
Defect in Vision

2011年
2チャンネル・ビデオ・インスタレーション
12分3秒



下村 観山
SHIMOMURA Kanzan
美人と舍利

1909年
絹本着色
各126.0×50.7cm(双幅)



山口 啓介
YAMAGUCHI Keisuke
炉心臓 / 翼のゆくえ 山水の構造 1

2015年
アクリル、顔料、カンヴァス
390.0 × 237.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.4

1984-85年
カラーインタリオ
66.5×50.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.5

1984-85年
カラーインタリオ
58.5×50.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.6

1984-85年
カラーインタリオ
66.5×50.5cm



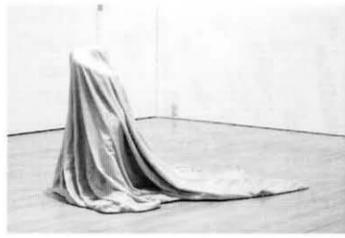
山口 啓介
YAMAGUCHI Keisuke
心臓のarchetype

2015年
アクリル、顔料、カンヴァス
254.0×200.0cm



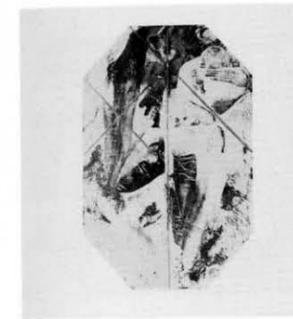
吉本 作次
YOSHIMOTO Sakuji
三本の木と聖人の墓

2012-14年
油彩・木炭・鉛筆、カンヴァス
197.0×291.0cm



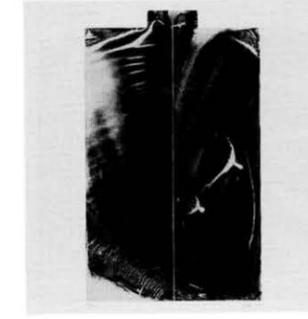
ライアン・ガンダー
Ryan GANDER
おかあさんに心配しないでって (6)

2013年
大理石樹脂
84.0 × 57.0 × 149.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.7

1984-85年
カラーインタリオ 1版4色
63.5×44.0cm(image), 66.5×50.5cm



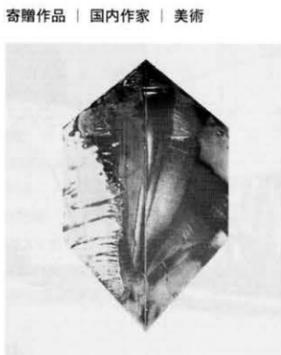
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.8

1984-85年
カラーインタリオ
66.5×50.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.9

1984-85年
カラーインタリオ
66.5×50.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.1

1984-85年
カラーインタリオ
66.5 × 50.5cm



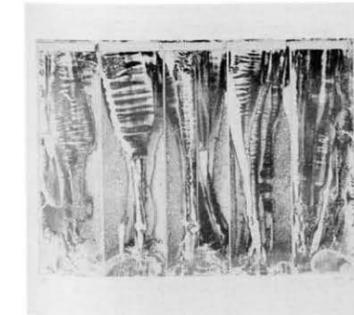
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.2

1984-85年
カラーインタリオ
66.5 × 50.5cm



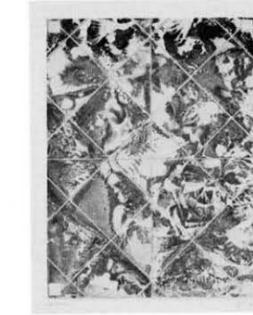
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.3

1984-85年
カラーインタリオ
66.5 × 50.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.10

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



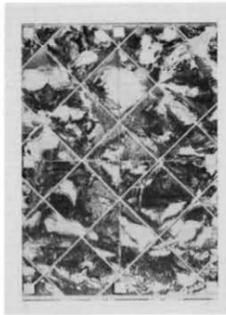
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.11

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.12

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



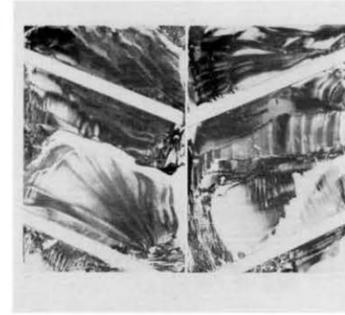
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.16

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



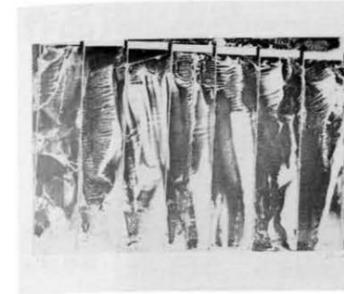
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.17

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



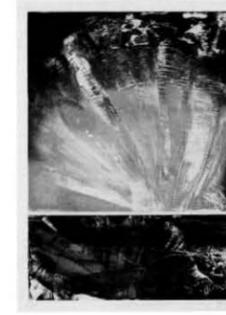
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.19

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.27

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



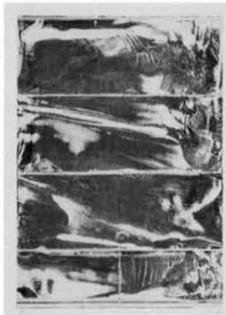
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.29

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.30

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



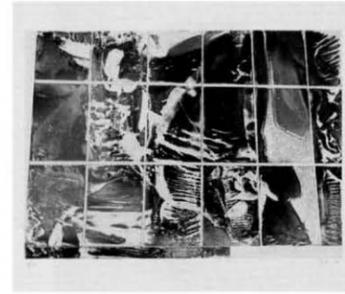
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.21

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.22

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



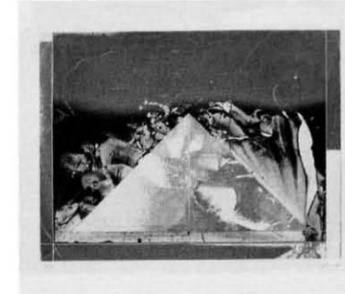
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.23

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



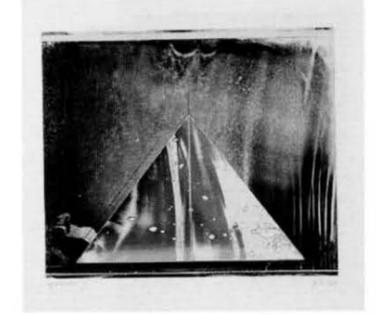
加納 光於
KANO Mitsuo
風のールカ・パチオウリに I

1987年
カラーインタリオ
66.5×50.5cm



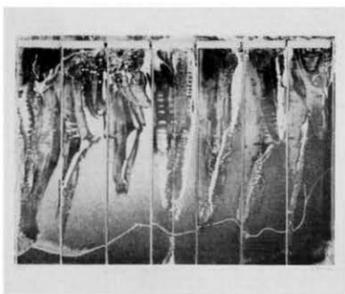
加納 光於
KANO Mitsuo
風のールカ・パチオウリに II

1987年
カラーインタリオ
50.5×66.5cm



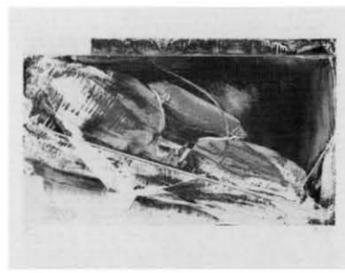
加納 光於
KANO Mitsuo
風のールカ・パチオウリに III

1987年
カラーインタリオ
50.5×66.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.24

1984-85年
カラーインタリオ
57.0×76.5cm



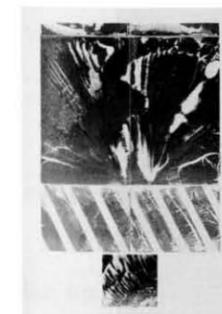
加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.25

1984-85年
カラーインタリオ 1版5色
29.9×50.0cm(image), 50.5×66.5cm



加納 光於
KANO Mitsuo
「波動説」-intaglio をめぐって No.26

1984-85年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
《汽水よ、ゆるやかにそしてはやく》IV

1990年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



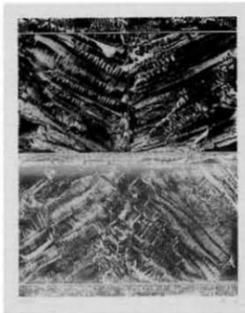
加納 光於
KANO Mitsuo
《汽水よ、ゆるやかにそしてはやく》V

1990年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



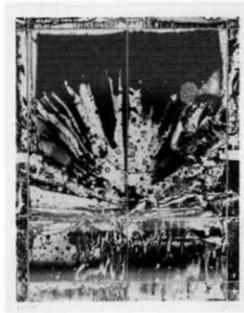
加納 光於
KANO Mitsuo
《しし座》-偶々と変容 I

1991-92年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



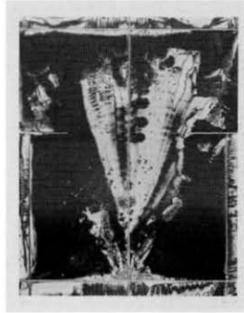
加納 光於
KANO Mitsuo
《しし座》—偶有と変容 II

1991-92年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



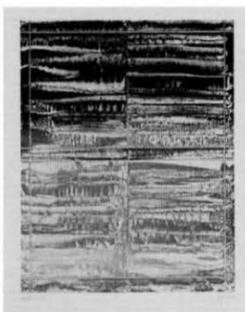
加納 光於
KANO Mitsuo
《しし座》—偶有と変容 III

1991-92年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
《しし座》—偶有と変容 IV

1991-92年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



加納 光於
KANO Mitsuo
《しし座》—偶有と変容 V

1991-92年
カラーインタリオ
76.5×57.0cm



城戸 保
KIDO Tamotsu
cosmos

2014年
Cプリント
90.0×113.0cm



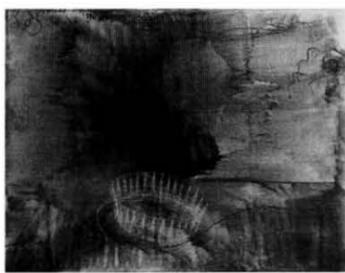
城戸 保
KIDO Tamotsu
梅とコンテナ

2014年
Cプリント
90.0×113.0cm



城戸 保
KIDO Tamotsu
木と鉄

2014年
Cプリント
90.0×113.0cm



山口 啓介
YAMAGUCHI Keisuke
象の檻 (青)

1995年
膠、樹脂、顔料、紙
210.0×271.0cm



山口 啓介
YAMAGUCHI Keisuke
分蜂

1998年
植物、膠、顔料、シルクスクリーン、カンヴァス
250.0×197.0×5.0cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、
2016年度分のみとした。

作家名	作品名	展覧会名(期間)/会場	会期
森村 泰昌	セルフポートレイト 駒場のマリリン	森村泰昌: 自画像の美術史—「私」と「わたし」が会おうとき 国立国際美術館	2016年4月5日—6月19日
藤田 嗣治	美しいスペイン女	生誕130年記念 藤田嗣治〜東と西を結ぶ絵画〜 名古屋市美術館	2016年4月29日—7月3日
藤田 嗣治	自画像	兵庫県立美術館 府中市美術館	2016年7月16日—9月22日 2016年10月1日—12月11日
サルバドール・ダリ	皿のない二つの目玉焼きを背に 乗せ、ポルトガルパンのかげらを 犯そうとしている平凡なフラン スパン	ダリ展 京都市美術館 国立新美術館	2016年7月1日—9月4日 2016年9月14日—12月12日
高橋 節郎	サーカス	高橋節郎の軌跡 安曇野高橋節郎記念美術館	(前期)2016年7月16日—9月4日 (後期)2016年9月6日—11月13日
高橋 節郎	寓話		
高橋 節郎	古墳		
高橋 節郎	杉の木の寓話		
高橋 節郎	踊り A		
高橋 節郎	踊り B		
高橋 節郎	断層		
高橋 節郎	化石深海 A		
高橋 節郎	地久大恵 5		
高橋 節郎	地久大恵 6		
高橋 節郎	地久大恵 7		
高橋 節郎	森神		
高橋 節郎	化石型 (ユニット)		
高橋 節郎	赤い化石		
高橋 節郎	森魂		
高橋 節郎	化石の森		
高橋 節郎	乾漆壺 4		
高橋 節郎	乾漆壺 9		
高橋 節郎	乾漆壺 21		
ヤノベケンジ	サバイバル・システム・トレイン	ヤノベケンジ展 CINEMATIZE シネマタイズ 高松市美術館	2016年7月16日—9月4日
ヤノベケンジ	ラディエーションスーツ・アトム		
小島 久弥	Critical Point "IN⇄OUT"	マジカル・セラミック・ツアー 土の冒険のぼうけん 岐阜県現代陶芸美術館	2016年7月23日—9月4日
中原 浩大	無題 (レゴ・モンスター)	釜山ビエンナーレ2016 釜山市立美術館	2016年9月3日—11月30日
岡崎 和郎	ギブアウェイバック 1	見立ての手法—岡崎和郎のwho's who— 千葉市美術館	2016年9月6日—10月30日
岡崎 和郎	ギブアウェイバック 2		
岡崎 和郎	ギャング	北九州市立美術館	2016年11月19日—2017年1月15日
コンスタンティン・ブランクーシ	眠る幼児		
マン・レイ	アルベルト・ジャコメッティ (ソラリゼーション)		
マン・レイ	セルフ・ポートレイト		
マン・レイ	マルセル・デュシャン		
マン・レイ	サルヴァドール・ダリ		

作家名	作品名	展覧会名(期間)/会場	会期
小川 信治	ピサー2	小川信治展 千葉市美術館	2016年9月7日-10月30日
ヘリット・トーマス・リートフェルト	アームチェア	オランダのモダン・デザイン リートフェルト&ブルーナ、ADO	
ヘリット・トーマス・リートフェルト	ベルリン・チェア	東京オペラシティ アートギャラリー	2016年9月17日-11月23日
ヘリット・トーマス・リートフェルト	ジグザグ・チェア	大分県立美術館	2016年12月2日-2017年1月22日
ヘリット・トーマス・リートフェルト	アームチェア		
エドヴァルト・ムンク	魅惑	動き出す! 絵画 ベール北山の夢	
エドヴァルト・ムンク	接吻	東京ステーションギャラリー	2016年9月17日-11月6日
岸田 劉生	代々木附近	和歌山県立近代美術館	2016年11月19日-2017年1月15日
		下関市立美術館	2017年1月28日-3月12日
野村 仁	'moon' score : 真空からの発生	美術と音楽-音楽をめざす美術のこころみ- 群馬県立近代美術館	2016年9月17日-11月13日
ルネ・マグリット	無謀な企て	Magritte, la trahison des images Centre national d'art et de culture Georges-Pompidou	2016年9月21日-2017年1月23日
フランシス・ベーコン	スフィンクス	Zie de Mens Museum de Fundatie	2016年10月1日-2017年1月17日
高橋 節郎	踊り	日本におけるキュビスム-ピカソ・インパクト 鳥取県立博物館 埼玉県立近代美術館 高知県立美術館	2016年10月1日-11月13日 2016年11月23日-2017年1月29日 2017年2月12日-3月26日
山本 富章	Untitled	山本富章展-創造の原点から色斑空間へ- 碧南市藤井達吉現代美術館	2016年10月15日-12月4日
梅原 龍三郎	少女アニー	拝啓 ルノワール先生-梅原龍三郎が出会った西洋美術 三菱一号館美術館 あべのハルカス美術館	2016年10月19日-2017年1月9日 2017年1月24日-3月26日
立石 大河亞	約束の時間	世界が妙だ! 立石大河亞+横山裕一の漫画と絵画	
立石 大河亞	借景亭	広島市現代美術館	2016年10月28日-2017年1月22日
立石 大河亞	水の巻		
草間 彌生	No.AB.	草間彌生 わが永遠の魂	
草間 彌生	無題(イス)	国立新美術館	2017年2月22日-5月22日
マルセル・ブロイヤー	アームチェア(ヴァシリー)	マルセル・ブロイヤーの家具: Improvement for good 東京国立近代美術館	2017年3月3日-5月7日
ジェームズ・アンソール	愛の園	ベルギー奇想の系譜 ボスからマグリット、ヤン・ファン・デル・ヴェーデルまで 宇都宮美術館	(2017年3月19日-2017年9月24日) 2017年3月19日-5月7日

教育・普及

1 講演会、シンポジウム

常設特別展「山本富章 | 斑粒・ドット・拍動」 アーティストトーク

講師: 山本富章(画家)
日時: 4月30日[土] 午後3時-4時
会場: 講堂
参加人数: 40人

企画展「テロロイト美術館展」

記念講演会「フランス絵画の黄金時代: 印象派から 20世紀へ」

講師: 千足伸行(監修者、成城大学名誉教授 広島
県立美術館館長)
日時: 5月28日[土] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 100人

企画展「ジブリの立体建造物展」対談

講師: 藤森照信(展覧会監修者)、杉戸洋(画家)、五十嵐
太郎(建築批評家)
日時: 7月31日[日] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 150人

企画展「杉戸洋-こっばとあまつぶ」記念対談①

講師: studio velocity(建築家)、杉戸洋(美術作家)
日時: 7月16日[土] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 165人

企画展「杉戸洋-こっばとあまつぶ」記念対談②

講師: 青木淳(建築家)、杉戸洋(美術作家)
日時: 9月25日[日] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 200人

企画展「蜘蛛の糸」記念講演会①

「クモの賢さと美しさ」
講師: 奥本大三郎(フランス文学者、埼玉大学名誉教
授、NPO日本アンリ・ファール会理事長、ファール
昆虫館館長)
日時: 10月29日[土] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 150人

企画展「蜘蛛の糸」記念講演会②

「小袖にみるクモの巣文様」
講師: 藤井享子(東海大学、群馬女子大学非常勤講師)

日時: 12月17日[土] 午後2時-3時30分
会場: ワークショップルーム
参加人数: 40人

常設特別展「浅野弥衛-コレクションを中心に」 記念講演会「引っかけ・たがやし・ハムラビ・縞・むし むし...浅野弥衛の作品」

講師: 石崎勝基(美術史家)
日時: 2月4日[土] 午後2時-3時30分
会場: 講堂
参加人数: 95人

常設特別展「切断してみる-二人の耕平」 「切断トーク」

講師: 小林耕平(美術家)、高橋耕平(美術家)
日時: 1月14日[土] 午後2時-4時
会場: 展示室3
参加人数: 70人

常設特別展「切断してみる-二人の耕平」 クロージングイベント

講師: 佐々木敦(批評家)、小林耕平(美術家)、高橋
耕平(美術家)、千葉真智子(当館学芸員)
日時: 4月2日[日] 午後2時-4時
会場: 展示室3
参加人数: 70人

2 講座、解説会、ギャラリートーク、 ワークショップ

講座

夏の漆講座「漆塗り体験-バスタ皿をつくらう！」

主催: (公財)高橋記念美術文化振興財団
講師: 笹井史恵(漆芸家、京都市立芸術大学准教授)
日時: 8月28日[日] 午前10時30分-12時30分
午後2時30分-4時30分
会場: ワークショップルーム
参加人数: 58人

「パウワウ 岡崎乾二郎-豊田市美術館のミッシング リンク」

講師: 岡崎乾二郎(造形作家、批評家)
日時: ①11月26日[土]、②11月27日[日]
午後2時-5時
会場: ワークショップルーム
参加人数: ①33人 ②34人

冬の漆講座「変わり塗のきれいなお箸を作ろう」

主催: (公財)高橋記念美術文化振興財団

日時: 2月18日[土] 午前10時30分-12時30分
午後2時30分-4時30分
講師: 笹井史恵(漆芸家、京都市立芸術大学准教授)
会場: ワークショップルーム
参加人数: 40人

解説会、ギャラリートーク

常設特別展「山本富章 | 斑粒・ドット・拍動」 学芸員によるギャラリートーク

日時: ①5月5日[木・祝]、②6月5日[日]
午後2時-3時
会場: 展示室
参加人数: ①20人 ②6人

企画展「杉戸洋-こっばとあまつぶ」 学芸員によるギャラリートーク

日時: ①7月24日[日]、②8月21日[日]、③9月17日[土]
午後3時-4時
会場: 展示室
参加人数: ①15人 ②23人 ③35人

常設特別展「琴線」学芸員によるギャラリートーク

日時: ①11月13日[日]、②12月18日[日]
午後3時-4時
参加人数: ①8人 ②7人

企画展「蜘蛛の糸」学芸員によるギャラリートーク

日時: ①11月5日[土]、②11月26日[土]、
③12月23日[金・祝] 午後2時-3時
参加人数: ①20人 ②27人 ③33人

常設特別展「浅野弥衛-コレクションを中心に」 学芸員によるギャラリートーク

日時: ①1月21日[土]、②2月16日[木]、③3月16日[木]
午後2時-3時
参加人数: ①15人 ②10人 ③15人

常設特別展「切断してみる-二人の耕平」 学芸員によるギャラリートーク

日時: ①1月28日[土]、②2月12日[日]、③3月19日[日]
午後2時-3時
参加人数: ①15人 ②20人 ③35人

ワークショップ

常設特別展「山本富章 | 斑粒・ドット・拍動」 ワークショップ

「ジャンボクレヨンで影の絵を描こう」

講師: 山本富章(画家)
日時: 6月11日[土] 午後2時-4時

会場：ワークショップルーム
参加人数：20人

3 コンサート、映画上映会、パフォーマンス等

コンサート

企画展「デトロイト美術館展」コンサート

Beatrice Piano Trio with 豊田市ジュニアオーケストラ
出演：Beatrice Piano Trio [木村瑠菜(ヴァイオリン)、下島万乃(チェロ)、尾城杏奈(ピアノ)] / 豊田市ジュニアオーケストラ[井藤恵梨香、大原菜々恵、高畑咲太、三枝知裕(ヴァイオリン)、下島弓乃(ヴィオラ)、三輪田顕(オーボエ)]
日時：5月15日[日] 午後2時-3時30分
会場：講堂
参加人数：200人

企画展「蜘蛛の糸」コンサート

Stringraphy (ストリンググラフィ)
主催：(公財)高橋美術文化振興財団
出演：ストリンググラフィ・アンサンブル[水嶋一江、中村菊代、鈴木モモ、八重樫みどり]
日時：11月27日[日] 午後2時-3時
会場：講堂
参加人数：170人

映画上演会

企画展「蜘蛛の糸」映画上映会

『くもとちゅうりっぷ』(監督：政岡憲三、1943年、16分、白黒アニメーション/協力：松竹株式会社)
『蜘蛛の糸』(監督：大藤信郎、1946年、11分、白黒影絵アニメーション/協力：東京国立近代美術館フィルムセンター)
日時：①11月12日[土]、②12月10日[土]
いずれも午後2時30分-3時30分
会場：ワークショップルーム
参加人数：①32人 ②41人

パフォーマンス

常設特別展「山本富章 | 斑粒・ドット・拍動」

ダンス・パフォーマンス 黒沢美香×太田恵資
出演：黒沢美香(ダンサー)、太田恵資(ヴァイオリニスト)
日時：6月19日[日] 午後6時-7時
会場：展示室1
参加人数：40人

4 アウトリーチ活動

アートカレッジ

テーマ「洋画をつまんでたべてみる」

講師：鈴木俊晴(学芸員)
日時：11月24日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：24人

テーマ「蜘蛛の糸展こぼれ話」

講師：都筑正敏(学芸員)
日時：12月1日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：37人

テーマ「現代美術鑑賞ピンポイント講座」

講師：北谷正雄(学芸員)
日時：12月22日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：23人

テーマ「高橋節郎の世界」

講師：西崎紀衣(学芸員)
日時：1月19日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：4人

テーマ「共同で作る」

講師：千葉真智子(学芸員)
日時：2月9日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：30人

テーマ「切手と絵はがきから、世界と日本が見えてくる」

講師：成瀬美幸(学芸員)
日時：3月2日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：19人

テーマ「こんなにある! 地域の名建築」

講師：能勢陽子(学芸員)
日時：3月23日[木] 午後2時-3時
会場：ワークショップルーム
参加人数：28人

アートツアー

館長と巡る岐阜県的美術館

講師：村田真宏(館長)
日時：12月3日[土] 午前9時-午後5時30分
会場：熊谷守一つけち記念館、多治見モザイクタイルミュージアム、岐阜県現代陶芸美術館
参加人数：30人

5 ミュージアムフェスタ

10月22日[土]・23日[日] 午前10時-午後7時の2日間実施

写生大会「美術館ってどんなところ? 描いてみよう!」

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団
日時：10月22日[土] 午前10時-午後3時
会場：庭園
参加人数：92人

市民演劇プロジェクト 小さな演劇「泥に咲く花」

日時：10月22日[土] 午後2時
会場：又日亭
参加人数：50人

美術館コンサート 秘密の歌声

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団
出演：堀澤麻衣子、前田智洋
日時：10月22日[土] 午後2時-3時
会場：講堂
参加人数：100人

映像インスタレーション 平川紀道「datum」

日時：10月22日[土]・23日[日] 午後6時-7時
会場：彫刻テラス他
参加人数：100人

市民演劇プロジェクト 野外群読劇「蜘蛛の糸」

日時：10月23日[日] 午前11時
会場：大池
参加人数：200人

美術館コンサート 美術館で楽しむJAZZ

主催：(公財)高橋記念美術文化振興財団
出演：名古屋大学めいおん・ジャズオーケストラ
日時：10月23日[日] 午後2時-3時
会場：講堂
参加人数：150人

杉山直トーク

講師：杉山直(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構主任研究員)
日時：10月23日[日] 午後5時-6時
会場：講堂
参加人数：70人

6 庭園活用事業

美術館の庭園を活用し、美術館への来館促進及びにぎわいの創出を目的に、平成27年秋から実施

お庭でマルシェ

日時：①4月29日[金]-5月1日[日]、5月3日[火]-5日[金]
午前10時-午後5時(6日間)
②10月22日[土]、23日[日]
午前10時-午後5時(2日間)
会場：庭園
参加人数：①13,350人 ②2,212人
出店数：①のべ148店(1日平均25店)
②のべ58店(1日平均29店)
共催：豊田市中心市街地活性化協議会

7 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。
平成28年3月現在、29名が登録。

ギャラリーツアー

内容：来館者との対話を交えながら、企画展/常設展の展示作品についてのギャラリー・ツアーを行った。
定時：毎日(木曜日を除く)午後2時-(関連事業開催日は午前11時)-土・日・祝日は午前11時-と午後2時-の2回開催
団体：団体からの事前予約によるツアー

定時	活動日数	298
	参加者数	1,177
団体	件数	50
	参加者数	5,288
参加者数合計		6,465

現代美術の鑑賞入門

作品をじっくり読み解くギャラリートーク

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を鑑賞するプログラム。各回午後3時-

日にち	トーカー	作品	参加人数
2016年4月3日	鈴木	山口啓介 《炉心臓-翼のゆくえ》	45
5月22日	土田	山本富章 《bugs on glass wall》	20
6月26日	佐々木	横内賢太郎 《Book-CHRI 6750》	60
7月30日	塚本	小川信治 《Pisa-3》	30
8月14日	竹山	杉戸洋(展示室4)	23
9月24日	堤	杉戸洋(展示室2)	25
10月30日	戸田	加藤翼 《Lighthouses 11.3 lwaki》 《Can you hear me?》	30
11月23日	中尾	塩田千春 《夢のあと》	40
12月25日	中野	草間彌生 《No.AB》	50
2017年1月29日	林	ピストレット 《ぼろぎれのヴィーナス》	22
2月11日	根本	ガンダー 《お母さんに心配しないでとって》	19
3月12日	舟見	高松次郎 《板の単体》	25
計			389

8 出版、ビデオ制作

出版、印刷物

『展覧会のご案内 2016-2017』
『年報(平成28年度版)』
『配布用ギャラリーガイド』
企画展、テーマ展、常設展に関する出版/印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

ビデオ制作

・平成28年度自主企画展の記録ビデオ
「デトロイト美術館」展記録ビデオ 15分
「山本富章」展記録ビデオ 15分
「ジブリの建築物」展記録ビデオ 15分
「杉戸洋」展記録ビデオ 15分
「蜘蛛の糸」展記録ビデオ 15分
「二人の耕平」展記録ビデオ 15分

9 小・中学校美術館学習

■中学校/美術館見学学習

①デトロイト美術館展の開催期間中に市内の全中学校2年生が来館し、美術館見学学習を実施した。

来館日	学校名	2年生生徒数
5月9日	藤岡南中学校 高岡中学校	150 180
5月16日	梅坪台中学校 藤岡中学校 井郷中学校	164 118 167
5月23日	猿投中学校	98
5月25日	前林中学校	259
5月30日	上郷中学校 石野中学校 旭中学校 末野原中学校	201 25 23 254
6月6日	崇化館中学校 小原中学校 益富中学校 松平中学校 足助中学校 下山中学校	244 28 110 131 64 30
6月7日	若園中学校	156
6月13日	朝日丘中学校 保見中学校 稲武中学校 浄水中学校 美里中学校 猿投台中学校	252 106 14 152 226 137
6月20日	豊南中学校 竜神中学校	302 239
6月23日	逢妻中学校 高橋中学校	306 255
合計		4391

②心に残る記念事業(コンサート)にあわせて希望学校の3年生が来館した。

来館日	学校名	3年生生徒数
8月23日	小原中学校	32
8月24日	旭中学校	22
8月24日	稲武中学校	24
8月25日	豊南中学校 美里中学校	242 227
合計		547

■小学校/公共施設見学学習

来館日	学校名	4年生生徒数
6月15日	浄水北小学校	101
合計		101

*学習の基本的な流れ

- ①講堂へ入場
- ②館職員による概要説明、館紹介ビデオ視聴
- ③クラス単位で常設展、企画展を観覧
- ④講堂へ再入場、点呼後、退場

■その他/授業・部活動等での見学

来館日	学校名	生徒数
4月28日	豊田市立朝日丘中学校(3年7組)	35
4月28日	豊田市立朝日丘中学校(3年6組)	35
5月6日	豊田市立朝日丘中学校(3年1組)	35
5月11日	豊田市立朝日丘中学校(3年2組)	35
5月11日	豊田市立朝日丘中学校(3年5組)	35
5月17日	豊田市立朝日丘中学校(3年3組)	35
5月17日	豊田市立朝日丘中学校(3年4組)	35
6月4日	豊川市立南部中学校 美術部	23
6月18日	知立市立竜北中学校	9
6月25日	東郷町立東郷中学校 美術部	12
7月21日	豊田市立美里中学校 美術部	30
7月21日	東郷町立春木中学校 造形部	20
7月22日	豊田市立竜神中学校 文芸部	29
7月22日	豊田市立崇化館中学校	21
7月28日	豊明市立香掛中学校 美術部	29
7月29日	瀬戸市立水野中学校 コンピュータアート部	12
8月2日	豊田市立朝日丘中学校 美術部	38
8月2日	朝日町立朝日中学校 美術部	22
8月9日	豊田市立豊南中学校 美術部	38
8月10日	大府市立大府北中学校 美術部	18
8月19日	豊田市立猿投台中学校 美術部	23
9月17日	東郷町立東郷中学校 美術部	23
11月12日	豊田市立美里中学校 美術部	27
12月10日	豊田市立高橋中学校 美術部	11
12月20日	刈谷市立依佐美中学校	6
合計		636

10 研修会

教員初任者研修・校外研修会 8月2日/90人

11 博物館実習

実習生: 11人(7大学)

実習期間: 8月9日[火]-8月13日[土] 計5日間

カリキュラム:

日	実習内容
1日目	オリエンテーション、館内見学 美術館の役割 館内の施設・設備/管理運営について
2日目	教育普及活動について ボランティアによるギャラリートーク体験 作品収集の意義 美術館建築について
3日目	展覧会の企画から実施まで ワークショップ 展覧会のつくり方①
4日目	作品の管理・保存・取扱い ワークショップ 展覧会のつくり方②
5日目	調査・研究活動について ワークショップ 発表 実習のまとめ~感想及び意見交換

利用実績

1 | 観覧者数

(人)

年	月	企画展・常設特別展			常設展			高橋節郎館			合計				
		日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均		
28	4	15	5,651	377	15	3,850	257	15	1,356	90	15	10,857	724		
		27	36,680	1,359	27	23,877	884	27	6,747	250	27	67,304	2,493		
		23	45,212	1,966	23	28,978	1,260	23	7,314	318	23	81,504	3,544		
		16	54,381	3,399	16	10,037	627	16	2,892	181	16	67,310	4,207		
		27	137,399	5,089	27	29,536	1,094	27	6,301	233	27	173,236	6,416		
		23	136,032	5,914	23	20,232	880	23	6,299	274	23	162,563	7,068		
		14	3,376	241	14	3,201	229	14	1,087	78	14	7,664	547		
		26	5,438	209	26	5,591	215	26	1,960	75	26	12,989	500		
		22	6,375	290	22	7,199	327	22	1,860	85	22	15,434	702		
		29	1	15	1,558	104	15	1,397	93	15	494	33	15	3,449	230
				24	2,545	106	24	2,343	98	24	1,112	46	24	6,000	250
				28	3,354	120	28	3,083	110	28	1,200	43	28	7,637	273
合計	260	438,001	1,685	260	139,324	536	260	38,622	149	260	615,947	2,369			

2 | ギャラリー利用状況

※美術館利用分除く

開催期間	開催日数	展覧会名
2016年4月19日(火)~4月24日(日)	6	B I N 3 F s'会展
4月27日(水)~5月1日(日)	5	キルトハーツパッチワークキルト展
5月4日(水)~5月8日(日)	5	ラ・ヴァレール豊田展
5月11日(水)~5月15日(日)	5	第16回G.A.M公募展
5月17日(火)~5月22日(日)	6	四つの視点写真展
5月24日(火)~5月29日(日)	6	森 伊津子展
5月31日(火)~6月5日(日)	6	第五次安藤豊郷詩書展帰郷展
7月14日(木)~8月7日(日)	23	名誉市民 本多静雄コレクション展
8月16日(火)~8月21日(日)	6	第3回ステンドグラス武藤やよひ展
8月30日(火)~9月4日(日)	6	K-T E N. 23
9月13日(火)~9月18日(日)	6	彩り小物展~カルトナージュ
9月20日(火)~9月25日(日)	6	小澤義久 浄化装置展
10月26日(水)~10月30日(日)	5	ちえの会 合同展
11月1日(火)~11月6日(日)	6	小原和紙工芸中部清風会展
11月8日(火)~11月13日(日)	6	第9回 創造の仲間たち展
11月19日(火)~11月27日(日)	8	第55回豊田市民美術展
11月29日(火)~12月11日(日)	12	第19回豊田市障がい者作品展
12月13日(火)~12月18日(日)	6	伊丹靖夫日本画展
12月20日(火)~12月25日(日)	6	写生大会作品展
2017年1月17日(火)~1月22日(日)	6	B I N 3 F s'会展
2月21日(火)~3月5日(日)	12	和紙素材の研究展4
3月21日(火)~3月26日(日)	6	y and m 6636 中道芳美・石崎万咲親子展
合計	159	22団体(合計入場者数18,965人)

ワークショップ除く

3 | ライブラリー利用状況

(人)

年	月	利用人数
28	4	381
	5	1,211
	6	910
	7	554
	8	1,450
	9	832
	10	203
	11	275
	12	231
29	1	88
	2	197
	3	237
合 計		6,569
1日平均		25

4 | レストラン等付属施設利用状況

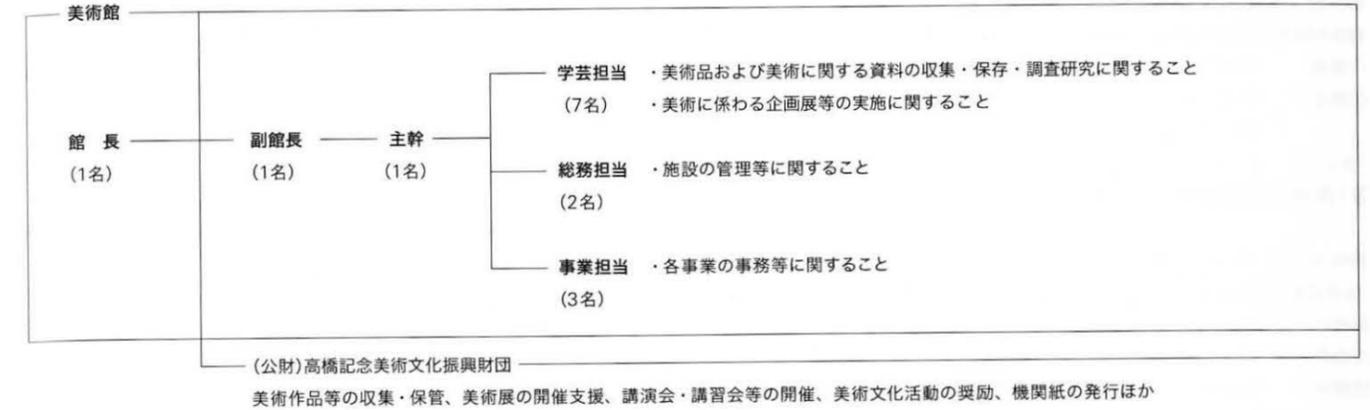
(人)

年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	その他施設	合計
28	4	15	1,653	763	1,276	4,458	8,150
	5	27	5,496	2,823	3,098	10,830	22,247
	6	23	5,116	3,378	2,933	3,809	15,236
	7	16	2,978	1,665	1,423	818	6,884
	8	27	5,728	3,346	1,880	1,072	12,026
	9	23	4,899	2,243	2,094	688	9,924
	10	14	1,202	550	814	3,494	6,060
	11	26	2,231	926	1,778	767	5,702
	12	22	1,795	1,165	948	189	4,097
29	1	15	587	295	711	75	1,668
	2	24	844	529	418	126	1,917
	3	28	1,273	768	1,112	770	3,923
合計		260	33,802	18,451	18,485	27,096	97,834

※その他施設：ワークショップルーム、講堂、又日亭、七州城、庭園

組織

1 | 組織図 ※平成29年4月1日現在



※美術館の分掌事務

- ・美術館の運営管理に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の収集に関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の保管及び取扱いに関すること
- ・美術品及び美術に関する資料の展示に関すること
- ・美術に関する展覧会等の事業の実施に関すること
- ・美術に係る調査研究に関すること
- ・美術の啓発に関すること

※(公財)高橋記念美術文化振興財団は、事務局を豊田市美術館内に置き、美術館職員がその事務事業を兼務する。

2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 平成28年8月22日(月)
平成29年2月28日(火)

3 | 美術品収集委員会

岡崎 乾二郎 作「サウモクのくさきに クワヒとうつくしみ、かうむらしむ」はじめ11件の美術品購入と39件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

- ①委員 6名
- ②開催日 平成28年8月31日(水)

4 | 美術館ボランティア

来館者の館内案内の他、新聞記事や図書の整理、アンケートの収集などを行いました。

- ①発足 平成7年11月
- ②登録人数 15人 ※平成28年4月1日現在
- ③活動内容 ・館内の案内(作品解説は除く)
・庶務業務の補助 など

5 | 作品ガイドボランティア

毎日(木曜日を除く)午後2時から(土・日・祝日は午前11時からもあり)、来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリー・トークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 30人 ※平成28年4月1日現在
- ③活動内容 ・常設展、企画展でのギャラリーツアー
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

豊田市美術館条例

平成7年3月31日
条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館(以下「美術館」という。)を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

- 第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。
- (1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
 - (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
 - (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

- 第5条 別表第2に掲げる施設(以下「施設」という。)を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等(以下「美術品等の利用」という。)をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
 - 3 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

- 第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。
- (1) 利用目的に違反すると認めるとき。
 - (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めるとき。
 - (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
 - (4) その他管理上支障があると認めるとき。

許可の取消し等

第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、又は公益上特に必要があると認めるときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
 - (2) 許可に付された条件に違反したとき。
 - (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- 2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者(第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。)は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の承認及び原状回復

- 第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。
- 2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
 - 3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認められた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めるときは、この限りでない。

美術館運営協議

- 第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会(以下「運営協議会」という。)を置く。
- 2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
 - 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 学校教育の関係者
 - (2) 社会教育の関係者
 - (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験を有する者
 - (5) 地域との連携に資する活動を行う者
 - (6) 公募による市民(市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。)
 - 4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任

者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成7年11月11日(以下「施行日」という。)から施行する。

準備行為

2 この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則(平成15年3月28日条例第10号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成17年3月29日条例第24号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附則(平成18年12月27日条例第92号)

施行期日

1 この条例は、平成19年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

経過措置

2 施行日前に施行日以後の利用について許可を受けた者からは、改正前の豊田市美術館条例の規定にかかわらず、施行日前においても当該利用に係る改正後の豊田市美術館条例に定める額の使用料を徴収する。

附則(平成24年3月30日条例第14号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附則(平成28年3月30日条例第26号)

(施行期日)

1 この条例は、平成28年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。(経過措置)
 2 施行日前に改正前の豊田市美術館条例別表第1の規定により定められた常設特別展示又は企画展示に係る観覧料の額については、当該常設特別展示又は企画展示の期間が終了するまでの間は、改正後の豊田市美術館条例別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)

豊田市美術館観覧料

区分	観覧料(円)(1人1回につき)		年間拝観料(1人につき)
	個人	20人以上の団体	
常設展示	一般	300	5,000円以内で教育委員会が定める額
	大学生又は高校生	200	
常設特別展示	2,000円以内で市長がその都度定める額		
企画展示			

備考

1 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
 2 「年間観覧料」とは、当該観覧料を納付した日の翌日から起算して1年を経過する日の属する月の末日までの間、同一人が回数について制限を受けることなく観覧することができる観覧料をいう。

別表第2(第5条、第8条関係)

豊田市美術館使用料

1 ギャラリー使用料

区分	利用目的	単位	使用料(円)
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料

区分	利用目的	使用料(円)		
		午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
一步亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

豊田市美術館管理規則

平成7年9月29日

教育委員会規則第8号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例(平成7年条例第1号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、豊田市美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館日及び開館時間

第2条 美術館の開館日は、次に掲げる日を除く日とする。

- 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たる日を除く。)
- 12月28日から翌年1月4日まで
- 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時30分までとする。ただし、茶室にあっては、午前9時から午後9時までとする。
- 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等(条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。)の展示会場(以下「展示会場」という。)へ入場できる時間(次項において「入場時間」という。)は、午前10時から午後5時までとする。
- 前3項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館日、開館時間及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 教育委員会は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 条例第5条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 美術品等を利用する者の氏名及び住所
- 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
- 美術品等の利用目的
- 美術品等の利用日時
- その他教育委員会が必要と認める事項

3 前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。ただし、教育委員会がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

4 第1項及び第2項の許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、これらの項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書(様式第2号。以下「許可書」という。)を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間(以下「利用期間」という。)は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用するときその他教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書(様式第3号)に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書(様式第4号。以下「変更許可書」という。)を利用者に交付する。
 3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書(様式第5号)に許可書又は変更許可書を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書(様式第6号)を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

(2) 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し、及び確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

イ 市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。

(3) 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条に規定する身体障害者手帳

イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

ウ 戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条に規定する戦傷病者手帳

エ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

(4) 市内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額

ア 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則(平成19年厚生労働省令第129号)第17条第1項に規定する被保険者証

イ 市が実施する母子・父子家庭医療費支給事業において当該母子・父子家庭医療費の受給者に対し交付する受給者証

(5) 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 常設展示の観覧料の全額

(6) 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合 使用料の全額

(7) その他教育委員会が特別の事由があると認められた場合 その都度教育委員会が定める額

2 前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書(様式第7号)を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書(様式第8号)を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要がないと認めるときは、この限りでない。

3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書(様式第9号)を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書(様式第10号)を交付する。

優待券等

第11条 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

事前打合せ

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条 利用者は、次に定める事項を守らなければならない。

- (1) 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用をしないこと。
- (2) 次条各号に規定する行為をしないこと。
- (3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
- (4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
- (5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

第17条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。
- (2) 図書閲覧室の図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。
- (3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。
- (4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。
- (6) 許可を受けずに美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。
- (7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

第18条 豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。
2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条 運営協議会は、会長が招集し、議長となる。
2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

委任

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則**施行期日**

1 この規則は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

準備行為

2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則（平成13年3月30日教委規則第1号）
この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成15年3月28日教委規則第3号）
この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附則（平成16年12月27日教委規則第16号）
この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月29日教委規則第5号）
この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成18年12月27日教委規則第13号）

施行期日

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

経過措置

2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附則（平成19年3月30日教委規則第4号）
この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成20年3月28日教委規則第8号）
この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則（平成26年10月1日教委規則第7号）
この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附則（平成27年10月1日教委規則第17号）

施行期日

1 この規則は、平成27年10月1日から施行する。

経過措置

2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附則（平成28年3月30日教委規則第4号）
この規則は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第5条関係）**利用申請期間**

利用区分	期間	
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
	茶室	利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間
美術品等の利用	利用日の属する月の前6月から利用日までの間	

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）**観覧料還付の基準**

区分	還付率
災害その他観覧料（年間観覧料を除く。）を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

使用料還付の基準

区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

沿革

昭和	54 (1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
	59 (1984)年	3月	第4次豊田市総合計画 (1984 - 1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年	4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年	3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
		4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
		9月	(仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
		6月	建設工事着工
		10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年	6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年	3月	豊田市美術館条例公布
		6月	建設工事竣工
		11月	豊田市美術館開館
	8 (1996)年	7月	入館者10万人達成
		11月	豊田市都市景観賞 (主催:豊田市)
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催:(社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年	11月	入館者20万人達成
		11月	建築業協会賞 (主催:建築業協会)
	10 (1998)年	2月	愛知まちなみ建築賞 (主催:愛知県)
		4月	博物館登録
		12月	中部建築賞 (主催:中部建築賞協議会)
	11 (1999)年	5月	入館者30万人達成
	12 (2000)年	11月	公共建築賞 (主催:(社)公共建築協会)
	13 (2001)年	1月	入館者40万人達成
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催:(社)日本サインデザイン協会)
		12月	印刷出版研究所奨励賞 (主催:印刷出版研究所)
	14 (2002)年	3月	豊田市美術館モニターを設置
		4月	豊田市美術館運営協議会を設置
		10月	グッドデザイン賞 (主催:(財)日本産業デザイン振興会)
		12月	サインデザイン優秀賞 (主催:(社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年	1月	入館者50万人達成
	16 (2004)年	6月	入館者60万人達成
		9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
	17 (2005)年	11月	開館10周年記念事業
		12月	入館者70万人達成
	19 (2007)年	7月	入館者80万人達成
	22 (2010)年	12月	入館者100万人達成
	23 (2011)年	8月	入館者110万人達成
	24 (2012)年	12月	入館者120万人達成
	25 (2013)年	5月	入館者130万人達成
	26 (2014)年	9月	バリアフリー化等改修工事による休館
	27 (2015)年	10月	リニューアルオープン
	28 (2016)年	9月	入館者190万人達成

豊田市美術館 年報 No.21 (平成28年度)

発行:2017年6月
編集・発行:豊田市美術館
愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1
tel.0565-34-6610

印刷・製作:東名印刷株式会社